

第22回
国民体育大会
秋季大会

バドミントン

1967|10|23⇒26

会場／越谷市立体育館

主催／日本体育協会・文部省・埼玉県



（宮内庁埼玉猟場）

文部省推薦
日本体育協会選定

スポーツの歌

若い力

新風社作品

佐伯孝夫作詞
高田信一作曲

(一)

若い力と感激に
燃えよ若人　胸を張れ
歓喜あふれる　ユニフォーム
肩に一ひら　花が散る
花も輝け　希望にみちて
競え青春　強き者

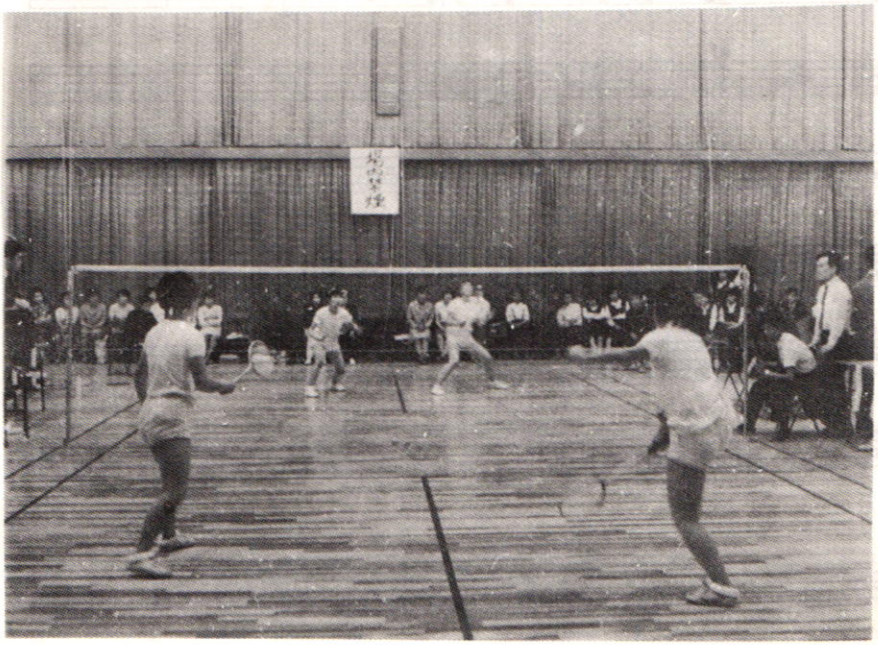
(二)

薫る英気と純情に
瞳あかるい　スポーツマン
ぼくのよろこび　君のもの
挙る凱歌に　虹が立つ
友情身にしむ　熱こそいのち
競え青春　強き者

この「若い力」は、昭和22年に作詞・作曲され、第２回国民体育大会から大会歌として制定され用いられています。

第２２回国民体育大会秋季大会バドミントン競技会

期　日　昭和４２年１０月２３日～２６日
場　所　埼玉県越谷市大沢２－１０－２１
越谷市立体育館
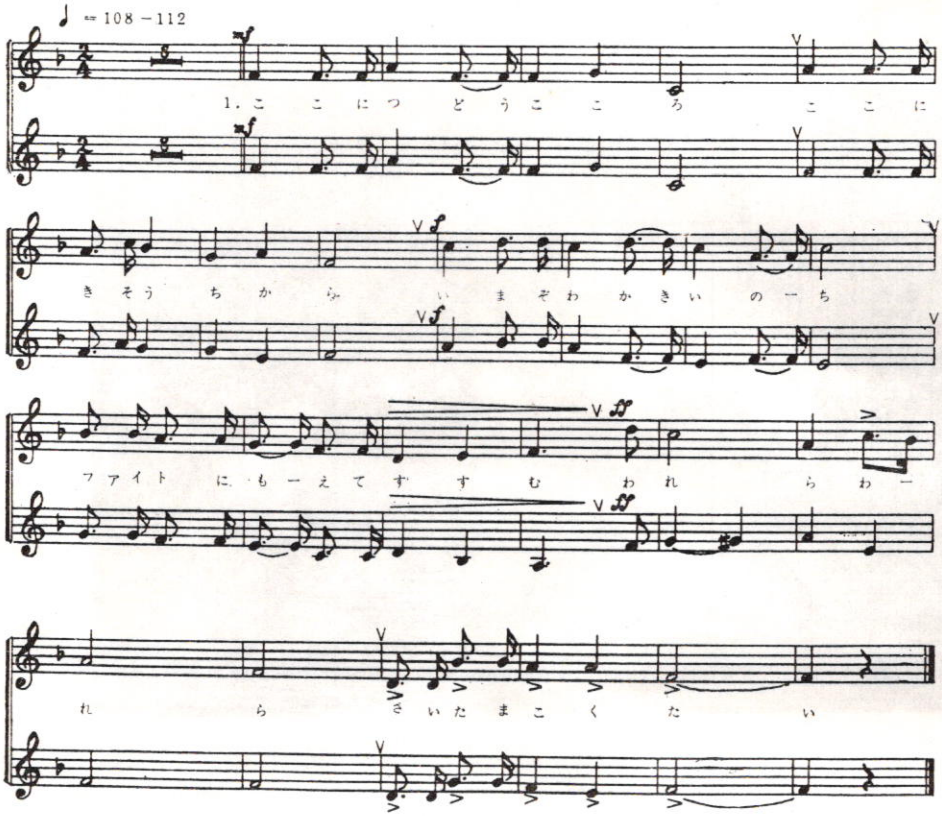


目　次

「埼玉国体の歌」 …… 2
あいさつ …… 3
大会会長、文部大臣、埼玉県知事
日本バドミントン協会長、越谷市長
埼玉県バドミントン協会長
天皇杯、皇后杯授与規程 …… 6
トロフイ授与規程 …… 7
スポーツマン綱領 …… 8
競技会役員 …… 9
競技役員 …… 11
式次第 …… 13
バドミントンの手引 …… 14
競技順序及び時間 …… 17
組合せ表 …… 18
都道府県別参加人員表 …… 20
参加チーム一覧表 …… 21
競技記録 …… 25
天皇杯、皇后杯得点表 …… 27
栄光の跡 …… 28
バドミントン大会会場配置図 …… 35
バドミントン会場見取図 …… 37
宿舎案内図 …… 38
宿舎決定書 …… 39
時刻表 …… 42
越谷市実行委員会名簿 …… 43
越谷市実行委員会事務局機構 …… 44

埼玉国体の歌

埼玉県歌等制定審査会選定
樋口克巳　作詞
大木実補作
清水修作曲



一
ここにつどう　こころ
ここに競う　力
いまぞ　若き　いのち
ファイトに　もえて
進む　われら
埼玉国体

二
高くあげよ　旗を
聖く　燃えよ　ほのお
胸にほまれ　秘めて
青春の　かぎり
つくす　われら
埼玉国体

三
北からの　君よ
南からの　君よ
えらばれた　若者
希望の　肩を
組むよ　われら
埼玉国体

四
ここにむすぶ　こころ
ここにふれた　友情
わすれずに　ながく
手に手を　とりて
誓う　われら
埼玉国体



あ　い　さ　つ

第２２回国民体育大会
会　長　　石　井　光　次　郎

天皇陛下・皇后陛下のご台臨を仰ぎ本日から６日間埼玉県下５０余会場において、第２２回国民体育大会秋季大会を開催いたしますことは誠に慶びにたえません。

今夏、１９６７年ユニバーシアード東京大会が多大の成果を収めて終幕し、国民全般のスポーツに対する関心を強め、とりわけ若い世代の人々のスポーツに対する意慾が一入昂まりつつあるとき、清新、健康、協力を旗じるしに本大会が開催されますことは誠に意義深く存じます。

郷土を代表して本大会に参加された選手諸君、日頃鍛えた力量を存分に発揮し所期の目的を遺憾なく達成するとともに来るべきメキシコ・オリンピックを目指して協励砌磋の実を挙げられるよう切望いたします。

本大会の開催に多大のご尽力とご協力をいただきました地元埼玉県はじめ関係各位に心から感謝の意を表してあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

文部大臣　　劍　木　亨　弘

天皇・皇后両陛下の御臨場をいただき、全国各地から参加された１万６千余名の若人の盛り上がる意気と力を結集して、ここに第２２回国民体育大会秋季大会を盛大に開催いたしますことは、わたくしの深くよろこびとするところであります。

国民体育大会は、関係者の尽力により、ますます充実発展し、いまや、わが国における最高のスポーツ祭典としてふさわしい盛況を見るとともに、健全明朗な国家社会の建設に多大の貢献をいたしておりますことは、真に力強い限りであります。

たくましい体力と活動力を身につけた青年選手諸君こそ、まさに国家社会の輝かしい発展の推進力であると確信いたします。

郷土の名誉と期待をになつて、全国から参加された選手諸君には、どうか、スポーツマン精神にのつとり、正々堂々たる態度を堅持し、スポーツの栄光と本大会の成功のために、力いつぱい健闘されんことを希望いたします。

終りに臨み、本大会の開催にあたつて地元埼玉県はじめ関係各位からいただきました多大の御支援御協力に対し深く感謝の意を表してごあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

第２２回国民体育大会埼玉県実行委員会会長
埼玉県知事　　栗　原　浩

天皇・皇后両陛下のご臨場を仰ぎ、全国各地から選ばれたスポーツの精鋭１５０００有余の選手諸君をお迎えしここに第２２回国民体育大会秋季大会を開催いたしますことは、限りない光栄であり、また、深く喜びとするところであります。

ご承知のとおり、国民体育大会は全国各地を巡回して開催されておりますが、関東地方における開催は、東京における開催を除いて実に十数年来のことでありさらにメキシコオリンピック大会を明年にひかえているおりから、全国の方々の本大会に寄せる期待と関心は、極めて高いものがあると思います。

本県では、この意義深い第２２回国民体育大会を迎えるに当つて清新・健康・協力をモットーとし、挙県一致の体制で準備の万全を期して参りました。特に施設の充実をはかり大会運営については清新な協力体制の確立に努めて大会に参加された選手諸君に十分その力を発揮していただくよう配慮いたしております。

どうか選手諸君には、スポーツマンシップに徹し、平素鍛えた力と技を遺憾なく発揮されまして、優秀な成果を収められますよう心から念願するものであります。

わたくしどもは、この大会への参加が選手諸君にとつて生涯を通じて一しお印象深きおもいでとなりますことを願うものであります。

おわりに本大会の開催にあたりご支援とご協力を賜わりました役員はじめ関係者の方々並びにご声援下さいました全国の皆様に深く感謝の意を表しましてあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

日本バドミントン協会
会　長　　本　田　弘　敏

第２２回国民体育大会バドミントン競技大会をここ越谷市において開催するにあたり、全国より参加されました役員選手並びに地元関係者各位にごあいさつ申し上げられますことは、私のこの上ない喜びとする処であります。

ご存知のように女子世界選手権の獲得、男子世界選手権の決勝進出をはじめ、数多くの国際大会において多年の努力が報いられ我国のバドミントン競技力もようやく世界の一流国として認められるようになりましたことは誠にご同慶の至りであります。しかし残念ながら念願である男子の世界制覇は未だ達成されておりません。このスポーツ界最高の栄誉を獲得するためには全国役員選手諸君の今一歩の精進努力が必要であることを痛感致します。

このように日本バドミントン界の隆々たる前途を望みつつ全国民こぞつてのスポーツ祭典であります本大会が当市において開催されることは、誠に意義深くまた力強さを感ぜずにはいられません。

参加選手諸君、この晴れの舞台において正々堂々とアマチュアスポーツマンシップを発揮してご奮斗されることを心より希望します。

おわりに臨み本大会準備のため何かとお世話頂きました地元関係者各位に対し感謝申し上げごあいさつと致します。

歓迎のことば



越谷市長　大塚伴麿

天皇・皇后両陛下のご台臨を仰ぎ第２２回国民体育大会秋季大会が埼玉県で開催され、わが越谷市においてはバドミントン競技大会が開催されますことは、まことに光栄であり感激に堪えないところであります。

北は北海道、南は沖縄と全国各地からご参加の選手役員の皆さん、ようこそお出下さいました。私ども越谷市民は心から歓迎申上げる次第であります。

当市は近年著るしい人口増により現在人口約９万８千余人を数え、又最近は首都圏整備地帯に指定され、益々増加の傾向にあります。

このような状況の中で益々都市化していく現状を考えますに越谷市の将来はまことに前途多難なものがありますが、しかしこれ等に対処して百年の計を樹てると共に着々と都市計画を進めております。

今回の埼玉国体はこのような意味から都市づくりの原動力となる人間開発の一助になるものと期待いたしておる次第です。

郷土の栄誉と期待を担つて出場されました選手の皆さんには、日頃鍛えられた技倆を十分に発揮されまして、栄光をめざしてご奮闘あらんことを切望いたします。

終りに本大会に出場の選手役員の皆さん方のご健康とご多幸を祈念いたし歓迎のことばといたします。

あいさつ



埼玉県バドミントン協会
会長　市川十郎

第２２回国民体育大会のバドミントン競技が当越谷市において開催されますことは、まことに感激深く喜びにたえないとともにその責任の重大さを痛感させられております。

今や日本のバドミントン競技は、世界の舞台においてめざましい活躍を続けておりますが、本大会においても花々しい最高度のゲームが展開されるものと存じます。

郷土の栄誉と期待を担つて出場されました選手各位には、日頃練磨された技倆を充分に発揮され、栄光をめざしてご奮闘あらんことを切望する次第であります。

尚、この大会を開催するに当りまして、日本バドミントン協会並びに大会関係者の方々より絶大なるご配慮とご協力を賜わりましたことを、本大会の主管協会として深く感謝の意を表しましてご挨拶といたします。



天　皇　杯　　皇　后　杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　天皇杯は、都道府県対抗男女総合順位１位の都道府県、皇后杯は女子総合順位１位の都道府県に授与する。

第２条　都道府県総合順位の決定は、冬・夏・秋季の三大会を通じ都道府県対抗競技種目に下記得点を与え、その合計点の多きものより順次とる。

１位１０点、２位７点、３位６点、４位５点、５位４点、６位３点、７位２点、８位１点

ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位は欠位とする。なお、１位が共有の場合は天皇杯、皇后杯は授与しない。

第３条　各競技種目の順位決定は種別のあるものについては、各種別ごとに下記得点を与え、その合計点の多きものより順次とる。

１位10点、２位７点、３位６点、４位５点、５位４点、６位３点、７位２点、８位１点

ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位は欠位とする。

第４条　天候その他により一部競技が中止になつた競技種目の成績決定は、その競技団体と国民体育大会表彰委員会で決める。

第５条　天皇杯、皇后杯は冬季大会の開会式に返還し、秋季大会の閉会式に授与する。

第６条　天皇杯、皇后杯を授与された都道府県は下の各項により保管ならびにその義務を有する。

１、天皇杯、皇后杯は信託会社または確実な金庫に保管される。

２、破損、紛失に対してはその都道府県の責任とする。

３、日本体育協会が優勝都道府県名を記入したり、またはその後の必要により一時返還を求めた場合はこれに応じなければならない。

付　則

本規程は、昭和４１年４月１日より施行する。

国民体育大会会長トロフィー授与規程



第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は各競技種目ごとに都道府県対抗男女総合順位１位の都道府県に授与する。

第２条　順位の決定方法は、天皇杯、皇后杯の授与規定で定める各競技種目総合順位決定方法に基づく。

２、１位が２都道府県以上にまたがる場合はその都道府県で共有する。

第３条　大会会長トロフィーは各競技会の競技開始式に返還し終了式で授与する。

第４条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は下の各項により保管ならびにその義務を有する。

(1)　責任をもつて保管する。

(2)　破損、紛失に対しては責任を負うものとする。

(3)　優勝の刻名を次回大会までに行うものとする。

ただし第２条第２項にかかる場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合はこれに応じなければならない。

付　則

本規定は、昭和４１年４月１日から施行する。

スポーツマン綱領

（昭和２８年１０月スポーツ振興会議制定）

スポーツは人間だけがもつ文化の一つである。

これをより高く、より美しいものにするには、スポーツを行なうものの精神とそれをとりまく環境の清らかなことが必要である。美しいスポーツマンシップはこのような世界のなかで生れ、やがて生活を導く基として社会のために貢献するであろう。故にスポーツマンは、競技場にあると同じ精神と態度で生活し、立派な社会人でなければならない。

ここに真のスポーツがあまねくゆきわたり、すべての人のものとして発展することを希い、スポーツマン綱領を定める。

◎　競技するものは、スポーツを愛好し、ひいてはそれを心と身体の糧とし、明るい光とすがすがしい空気のなかで、純粋にスポーツを行うこと。

◎　競技するものは、スポーツを行なうことによつて、社会的名声や物質的な利益を得ようという考えをもたないこと。

◎　競技するものは、審判の判定を重んじ、その決定に満足しない場合でも感情に支配されぬ行動をとること。

◎　競技するものは、つねに明朗で、相手を尊重しつつ自分の最善をつくし、その成果に満足すること。

◎　競技を判定するものは、規則に従つて公正に判断し、競技を明るく滑らかに進めること。

◎　競技を見るものは、感情にとらわれた応援をせず、美しい精神とすぐれた技をたたえ、スポーツのよりよい発展を希うこと。

競技会役員 (順序不同, 敬称略)

名誉会長	大塚伴鹿				
会長	本田弘敏				
副会長	叡勉	村岡四郎	広田兼敏	栗本義彦	
	田中喜一郎	松下正寿	市川十郎	柿沼国治	
顧問	山田文雄	白山源三郎	石渡俊一	松葉徳三郎	
	山崎寛二	浅井堅教			
参与	角田賢三	田中荘三郎	森本一雄	地崎宇三郎	
	須郷佻太郎	松橋藤吉	田村光政	浅野喜代治	
	小関三郎	小島忠左エ門	額賀修	日野貞夫	
	小紫貢	佐久間正夫	和田吉彌	福田篤泰	
	朝倉良三	中村篤衛	金森藤平	中村治嗣	
	場原新十郎	矢部喜一	後藤鄕二	加藤義孝	
	九鬼紋七	岡崎忠	永末英一	川畑与兵衛	
	岡本善右エ門	茂木一二	中村健	中尾喬一	
	天野辰雄	原立市	市川八五	鎌田道海	
	成俊薫	入交庄子	藤井二男	森俊雄	
	山中卓二	藤田義光	鶴丸広長	熊井信猷	
	荻野彦市	古木俊雄	有銘興昭	大岡増二郎	
	浅井進一	織本義重	浅古登	浅子進一	
	浅見真哉	会田稔	会田四郎	荒井光一	
	井橋順一	井上理助	植竹勇	遠藤善四郎	
	大熊武利	金子柳一郎	黒田重晴	小岩井清	
	小林秀雄	島村孝太郎	須賀定吉	田中三蔵	
	田村きみ子	戸井田孝一	中川隆司	中村喜久三	
	永野勝美	野口正次	平野惣之助	深井仁成	
	森蔵之	山崎浩次	吉岡康夫	平信夫	
	桃木俊平	石井節子	山口芳文	菊地正	
	浅見英蔵	秋山長作	阿部説郎	青木史夫	
	畔上喜一	飯島正幹	押田忠信	金子勝治	
	小泉志づ子	小島誠	小林信一	田中保	
	清水銀平	津村大八	藤間高介	野口茂太郎	
	長谷川春次	塙末雄	降田清一郎	牧野良治	
	柳井穣治	山崎正雄	小川六朗	大貫亥蔵	
	島村利一	島村平市郎	高志信	高橋仁之助	
	外山好太郎	中島与兵衛	中村孝作	中村栄一	
	名倉六七	山崎清	矢島茂重	石塚吉男	
	川尻春四郎				

委員長	森友 徳兵衛			
副委員長	高倉 正治	大須田 良作	黒田 嘉太利	
委員	吹田 修一	川端 昇市	小宮 淳宏	秋元 信一
	内藤 安雄	五十嵐 正信	今井 先	伊沢 三郎
	相場 清一	市嶋 智三郎	伊藤 基記	毛利 清志
	上原 正士	並木 万次郎	小飼 栄一	大岡 英相
	高橋 重夫	増井 益二	関 厳	渡辺 成雄
	岩井 由治	橋本 角市	穐山 正雄	和田 寿
	松本 弘充	内田 正博	榎本 彦次	菊地 利明
	塩川 甫	布引 修二	増田 保夫	山本 邦彦
	神谷 一三	岡村 英男	木村 登	渡辺 清司
	加藤 三夫	小林 敦	村山 幸雄	鈴木 忠雄
	佐々木 隆夫	早坂 正	板垣 隆房	関沢 義光
	中村 昭一	玉手 庸	藤沢 光嗣	内田 小五郎
	中島 寿禧	大竹 健司	千田 軍二	河合 満
	青木 昭二	宮崎 熊	倉光 忠雄	石原 幸雄
	植田 博宣	村岡 則章	新見 泰志	稲田 勝
	富田 新	福田 芳正	丸山 嘉久	仲村 寛市
	高橋 喜久司	五十里 光秋	小暮 佳男	茨城 淳
	吉成 素彦	井上 泰年	黒須 栄	大久保 孟
	唐沢 清一	松田 雄一	篠崎 武次	加藤 文子
	柿沼 清	川辺 敏雄	富山 武司	秋元 勝
	今井 元右エ門	石原 清宏	飯島 照子	金子 栄
	駒崎 謙	鈴木 重次	鈴木 康昭	鈴木 政子
	田中 茂夫	中野 実	中村 昇二	原島 正男
	星野 彦男	森若 寿文	吉田 信一	鈴木 正信
	飯山 岳司	宗像 和男	須賀 健蔵	斉藤 啓司
	白鳥 巌	田川 一郎	若林 利夫	中村 一
	高木 教	須賀 和夫	会田 平蔵	高橋 俊男
	永野 悦郎			

競　技　役　員　（順序不同，敬称略）

競技委員長	秋元信一				
競技副委員長	大須田良作	藤沢重彰			
総務委員長	小宮淳宏				
総務副委員長	黒田嘉太利	高橋喜久司			
総務委員	小川六郎	大貫亥蔵	島村利一	島村平市郎	
	高志信修	高橋仁之助	外山好太郎	中島与兵衛	
	中村孝作	中村栄一	名倉六七	山崎清	
	矢島茂重				
総合成績計算委員長	森友徳兵衛				
総合成績計算委員	大須田良作	古川弘			
審判長	内藤安雄				
副審判長	川端昇市	松本弘充	吉成素彦		
審判員	伊沢三郎	今井先	並木万次郎	吹田修一	
	村山幸雄	保坂俊一	保田誠一	増田保夫	
	新井威	神沢暁	権田正一	里見光徳	
	小泉伸坦	河辺享	河辺満	金子幸男	
	井上忠久	高橋治夫	稲村重利	山下金作	
	上沼丈夫	石川二郎	小川浅夫	内藤昭	
	井上泰年	吉田司	大久保孟	中山広明	
	斉藤勇	山口喜雄	榎本昇	林一夫	
	角田功	餘野木勉	今井清兼	佐藤忠夫	
	小田八束	永瀬重治	五味沢重隆	高山澄	
線審員	野中真也	細井稔	若山定雄	富田正雄	
	島崎雅夫	小林宏	金子保子	竹内神二	
	尾熊ミツ子	高橋美智子	小野玲穂	舟山一敏	
	渡辺節子	森川和子	渡部妙子	金森恭子	
	森桂子	千葉裕子	遠山喜代美	我妻よしゑ	
	板橋啓子	尾熊文子	本間けい子	宮本とよ子	
	野本忠男	平原進	鈴木雅生	中村道義	
	尾崎英雄	愛智展好	須賀芳幸	市川吉信	
	坂根繁夫	向後正明	野口裕典	荻原政明	
	小山由美子	飯野よし子	坂田礼子	木村由理子	
	遠山洋子	栗原茂子	加藤幸子	永井幸子	
	赤岩悦子	藤井貴美江	三鬼隆	星野康徳	
	島野満	佐藤恵子	斉藤喜代子	吉岡千恵子	
進行主任	柿沼清				
進行係	篠崎武次	須永ゆき子	山本甲兵	森田弘文	
	館野美津江	佐々木君子	鈴木豊子	佐藤勝彦	
記録主任	小暮佳男				

記録係	堀越俊男	山下洋子	岡安美津子	清田とく	
	加藤貞子	島村清美	上原美津子	互　美知子	
	向佐憲子	岩本英男	長谷川幸子	清水俊幸	
シャトル主任	朝山賢一				
シャトル係	松沢　武	加藤　勝			
掲示主任	松田雄一				
掲示係	新井英夫	石原清宏			
点示係	植竹安雄	深井　晃			
送信主任	黒須　栄				
送信係	鈴木裕万				
報道主任	須賀和夫				
報道係	三友史郎	丸山弘美			
会場主任	秋元　勝				
会場係	宗像和夫	飯山岳司	鈴木徳元	渡辺昌吉	
練習会場係	小滝正紀	遊馬和美	黒田喜代平	千代田　豊	
	岡田正男	吉田順一	井上　武	薩摩純夫	
	鈴木正男	深掘武夫			
放送主任	矢島茂重				
放送係	山中紀子	小野寺貞子			

補助員	越谷高校生	50名
	川口女子高校生	29名
	浦和西高校生	6名
	小松原女子高校生	4名
	小松原高校生	3名
	川越女子高校生	3名

式　次　第

開始式（10月23日）

1. 開式通告
2. 選手入場
3. 開会宣言……大会委員長　森友徳兵衛
4. 「君が代」斉唱
5. 「若い力」斉唱
6. 会長トロフィー返還
7. 会長挨拶……日本バドミントン協会長　本田弘敏
8. 歓迎のことば……越谷市長　大塚伴鹿
9. 表彰
10. 選手退場
11. 閉式通告

終了式（10月26日）

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. 会長挨拶……日本バドミントン協会長　本田弘敏
5. 歓送のことば……越谷市長　大塚伴鹿
6. 閉会宣言……大会委員長　森友徳兵衛
7. 選手退場
8. 閉式通告

バドミントン競技諸会議会場日程表

会議名	月日	期間	場所	会議名	月日	期間	場所
理事会	10.20	14～18	福祉会館第1会議室	全国理事長会議	10.21	18～	福祉会館娯楽室
財務委員会	〃	18～	教養室	指導委員会	10.22	17～	第2会議室
監督会議	10.21	10～	第1会議室	審判委員会	〃	19～	〃
臨時総会	〃	14～	〃	用具委員会	10.23	18～	教養室

競　技　日　程

第一日目（10月23日）	8.30	開始式
	9.00～17.30	一般男子　1～2回戦
		一般女子、高校男女、教員男子　1回戦
第二日目（10月24日）	9.00～18.00	一般男子　2～3回戦
		一般女子、高校男女、教員男子　準々決勝
第三日目（10月25日）	9.00～17.00	一般男子　準々決勝
		全種目　準々決勝
第四日目（10月26日）	9.00～13.00	全種目　3位決定戦及決勝戦
	13.30	終了式

バドミントンの手引

其の昔、インド・ボンベイ州のプーナに発生した此のゲームは、其の発生地の名を取り「プーナ」と称された。「プーナ」は今を去る百余年前の1844 年に英国に紹介され、漸次英国内に拡がり、1873 年、最初のプーナ・クラブが創立されて間もなく、ビュフォード領主下、グロセスターシャイアー県のバドミントン村で村人達が盛んに、このゲームを行う様になって以来、「バドミントン」と呼ぶ様になった。

当時の規則は幼稚なものであったが、以後度々改正が加えられ、今日では国際バドミントン連盟の規則に従って世界各国のバドミントン・プレーヤーがゲームをしている。現在英本国は勿論、北欧諸国、カナダ、北米、南米、マライ、タイ、及南洋諸国に於て行われている。

我国に於ては、大正13・4年頃、YMCA に紹介されていたが余り関心はなく、横浜YMCAが昭和10 年 正式にこの競技を取り入れて以来、研究普及が行なわれて来た。然し戦後其の発達普及の度は急速を極み、昭和21 年、日本バドミントン協会が結成され、23年に日本体育協会に加盟27年にIBF(国際バドミントン連盟)の一員となり、今日に至り、その支部が出来る迄に発展したのである。また、一昨39年5月東京にて第6回世界男子選手権(トマス杯)大会が開催され、インターゾーン戦では、日本(アメリカ・ゾーン勝者)タイ(アジヤ・ゾーン勝者)デンマーク(ヨーロッパ・ゾーン勝者)マラヤ(濠亜ゾーン勝者)の4ケ国中、デンマークがインターゾーン勝者となり、選手権国インドネシヤとチャレンジ・ラウンドの結果、3度インドネシヤは選手国となった。

因みに現在のバドミントン人口は推定100 万、その内日本バドミントン協会に選手登録がしてある者は約1万名である。

競技の見方　我が国に於て江戸時代の昔から行なわれている古い民族遊技として追羽根つきの様に一見やさしい競技の様に思われるバドミントンは、テニスの変化に富んでダイナミックな立体戦の特色と卓球のスピーディなゲームはこびを兼ねそなえれ近代的なスポーツである。そして又細かい技術を基礎にしたスマートなプレーと同時に強力な体力を要求するゲームである。

繊細な技術と果敢な決断力を以って、あの早いシヤトル・コックの打合のうちに、如何にして相手の急所を攻めるか、更に如何にして相手の体力を消耗させるかが図られている。

中央において1.524 m に張られたネットを境として上から叩く攻撃手段としてのスマッシュ、高く送り返すハイ・クリヤ、ドリブンクリヤー特有のネット・プレー、急に落下するドロップ、ショット、スピーディに烈しく打合うドライブ、又は相手に自分のモーションを隠すフエイントモーション等独特の面白さがある。

バドミントンは繊細な技術を必要とするこの競技の性質上、選手はコートのコンディションについても、とても細かい心づかいをする。コート内の風や周囲の動きや、雑音など極度にいやがるので観客は、例えば試合中の競技場への出入りやコートの周囲を動き廻ったり、たとえ短かい言葉でも声援しない様出来るだけ静かに観戦してもらいたい。そのかわり見事なファイン・プレーに対しては、相手味方を問わず万雷の拍手を以って応える様にしたい。

競技規則(抜萃)　ゲームはダブルスとシングルスの二種類があり、男、女、によって種別が異るが、共に1試合3ゲーム、1ゲームは15点(女子シングルスのみ11点)であり、15点先取した方がゲームに勝となり、2ゲーム先に取った方がその試合の勝者となる。得点はサーブした方が勝った場合のみ得点となり、レシーブした方が勝っても得点とならずサーブする権利を得るのみである。

シングルスでは交互に勝っていればお互に得点とならずサーブを交互に行うことが長く続く場合もあるわけである。しかしダブルスでは1組2人が夫々サーブすることが出来るので二人のサーブ

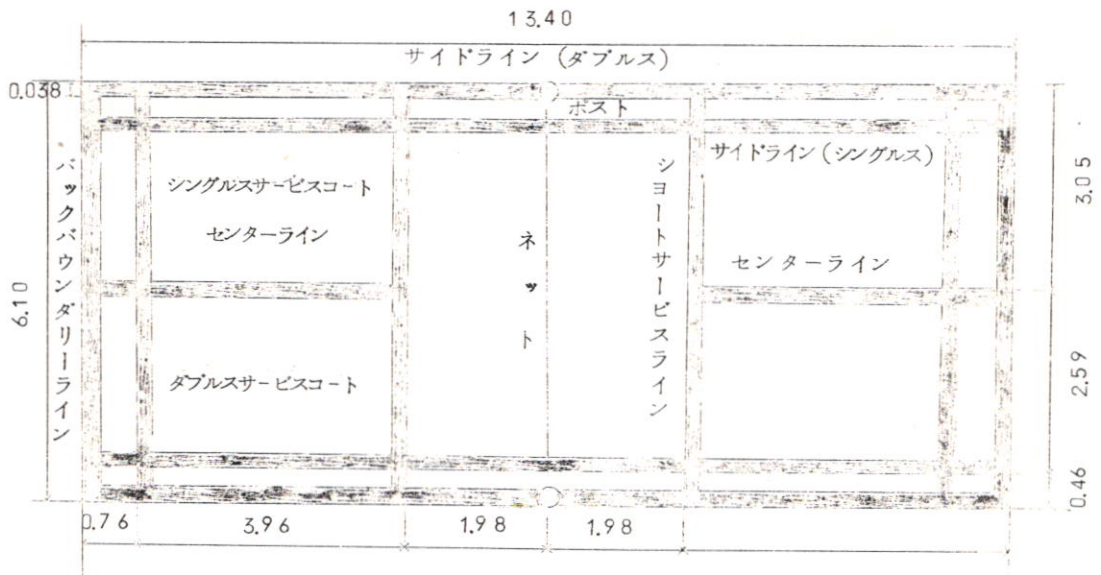
に勝たなければサーブは片方に移らない。尚得点に於て13オール，14オールになった時は先に13点，14点取っていた方が夫々5点3点のゲームとするかを決定することが出来る。これをセッテイングと云って，要求しないで15点までそのまま進めてもよい。女子のシングルスは11点ゲームなので9点オール，10点オールになった場合同様に夫々3点，2点の延長ゲームをすることが出来る。

次に如何なる場合がフォルト（反則）になるかと云うと，

1. サーブ又はレシーブの時ラインを踏んだりまたいだ時。
2. サーブの時シヤトルがサーバーの腰骨より高い所で打たれた場合。又ラケットの先が手よりも上に出た場合。
3. サービスが相手のサービスコートに入らなかった場合。
4. サーブの時又はレシーブの時，かまえた足が床面から動いたり浮き上った場合（かかとの上るのはかまわない）
5. シヤトルが相手コートに入らなかった場合，但し，相手が打てば入ったものと見做される。
6. ラケットや身体の一部が，相手コートに侵入したりネットに触れた場合。
7. シヤトルが同一プレーヤによって連続2回以上打たれたり，1人のプレーヤとのパートナーによって続けて打たれた時。
8. シヤトルがプレーヤの身体に触れた場合。
9. プレーヤーが相手を妨害した場合。

結び　バドミントンは近時特にスポーツとして，又，レクリエーションとして老若男女を問わず益々盛んとなり，屋内の体育館だけに留まらず，ビルの屋上や公園空地などで愛好されている。しかし交通のはげしい道路上で行なうことだけは危険であり，交通道徳の面からも是非禁止されなければならない。

誰にでも手軽に出来る運動であり，今後より以上の普及発展が予想されることだろう。



MEMO

競技順序及び時間 (タイムテーブル)

日	コート / 時間	1	2	3	4	5	6
第一日 (10月23日)	10. 00	M 1	M 2	M 3	M 9	L 1	M 10
	11. 30	M 4	M 5	M 6	M 11	M 12	M 13
	13. 00	M 7	G 1	G 2	M 14	M 15	L 2
	14. 30	M 8	B 1	B 2	M 24	T 1	T 2
	16. 00	M 16	M 17		M 25	M 26	M 27
第二日 (10月24日)	9. 00	M 28	M 29	M 30	M 18	M 19	M 20
	10. 30	M 31	B 3	B 4	M 21	M 22	M 23
	12. 00		B 5	B 6	T 3	T 4	T 5
	13. 30		G 3	G 4	T 6	L 3	L 4
	15. 00	M 36	G 5	G 6	M 32	L 5	L 6
	16. 30	M 37	M 38	M 39	M 33	M 34	M 35
第三日 (10月25日)	9. 00	M 40		M 41	M 42		M 43
	11. 00	G 7		G 8	L 7		L 8
	13. 00	B 7		B 8	T 7		T 8
	15. 00		M 44			M 45	
第四日 (10月27日)	9. 00	M 46	G 9	B 9	L 9		T 9
	11. 00	M 47	G 10	B 10	L 10		T 10

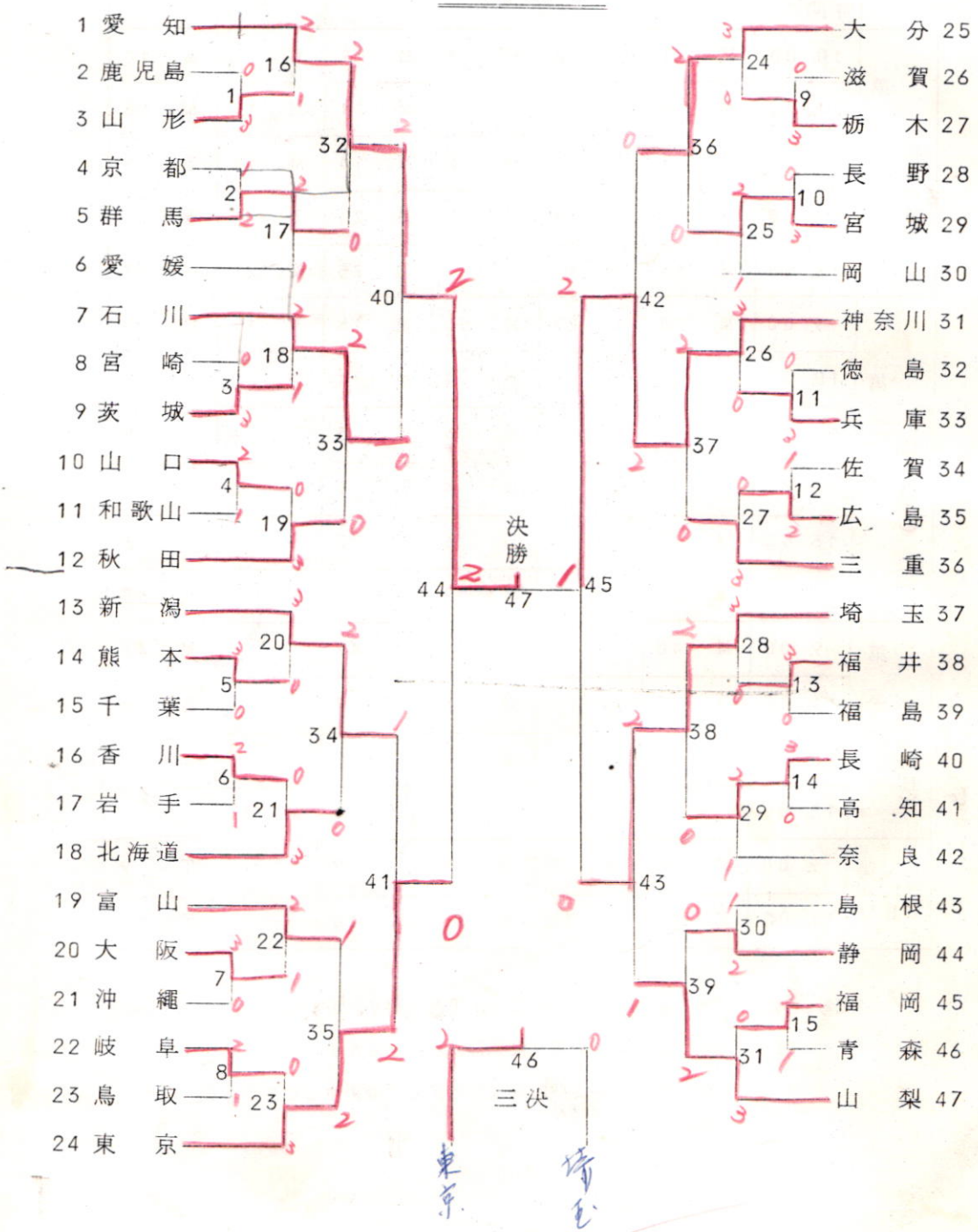
記号説明　(M一般男子、L一般女子、T教員男子、B高校男子、G高校女子)

註　1. 定刻よりおくれた場合は棄権とみなす。

2. コートおよび時間は都合により変更することがある。

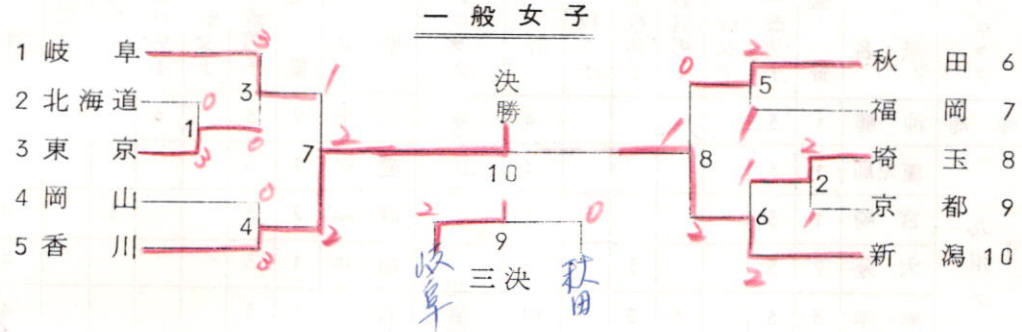
組　合　せ

一般男子

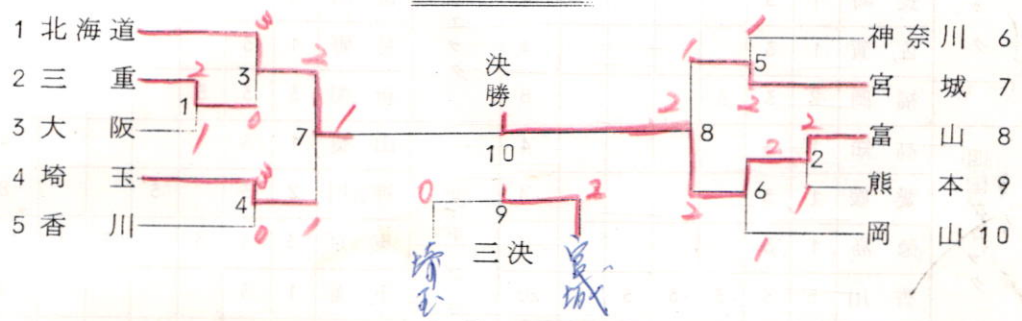

1 愛　知
2 鹿児島
3 山　形
4 京　都
5 群　馬
6 愛　媛
7 石　川
8 宮　崎
9 茨　城
10 山　口
11 和歌山
12 秋　田
13 新　潟
14 熊　本
15 千　葉
16 香　川
17 岩　手
18 北海道
19 富　山
20 大　阪
21 沖　縄
22 岐　阜
23 鳥　取
24 東　京
25 大　分
26 滋　賀
27 栃　木
28 長　野
29 宮　城
30 岡　山
31 神奈川
32 徳　島
33 兵　庫
34 佐　賀
35 広　島
36 三　重
37 埼　玉
38 福　井
39 福　島
40 長　崎
41 高　知
42 奈　良
43 島　根
44 静　岡
45 福　岡
46 青　森
47 山　梨
決勝
三決
東京
埼玉

組　　合　　せ

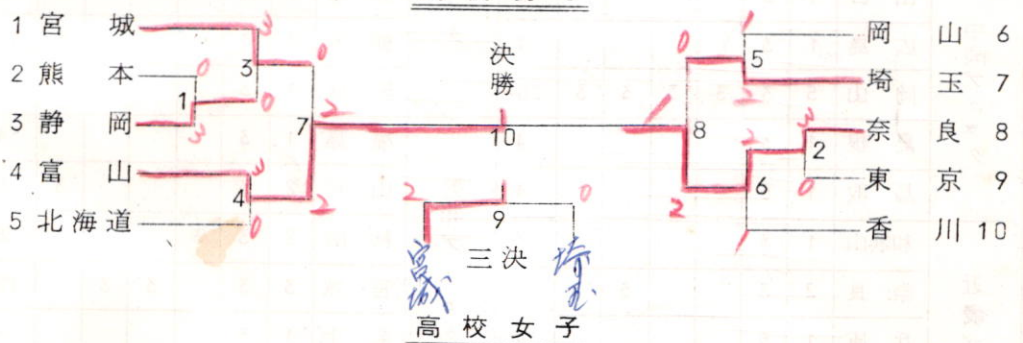
一般女子



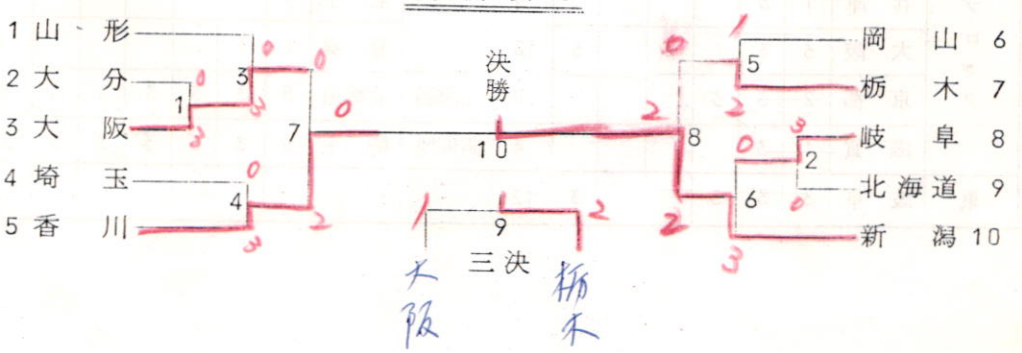
教員男子



高校男子



高校女子



都道府県別参加人員表

ブロック	県名	監督	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子	計	ブロック	県名	監督	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子	計
沖縄	沖縄	1	3					4	海ブロック	三重	2	3		3			8
九州ブロック	鹿児島	1	3					4		愛知	1	3					4
	宮崎	1	3					4		静岡	2	3			3		8
	大分	2	3			3		8	北信越ブロック	福井	1	3					4
	熊本	3	3		3	3		12		石川	1	3					4
	長崎	1	3					4		富山	3	3		3	3		12
	佐賀	1	3					4		長野	1	3					4
	福岡	2	3	3				8		新潟	3	3	3			3	12
四国ブロック	高知	1	3					4	関東ブロック	山梨	1	3					4
	愛媛	1	3					4		神奈川	2	3		3			8
	徳島	1	3					4		東京	3	3	3		3		12
	香川	5	3	3	3	3	3	20		千葉	1	3					4
中国ブロック	山口	1	3					4		群馬	1	3					4
	広島	1	3					4		栃木	2	3				3	8
	岡山	5	3	3	3	3	3	20		茨城	1	3					4
	島根	1	3					4	東北ブロック	福島	1	3					4
	鳥取	1	3					4		山形	2	3				3	8
近畿ブロック	和歌山	1	3					4		秋田	2	3	3				8
	奈良	2	3			3		8		宮城	3	3		3	3		12
	兵庫	1	3					4		岩手	1	3					4
	大阪	3	3		3		3	12		青森	1	3					4
	京都	2	3	3				8	北海道	北海道	5	3	3	3	3	3	20
	滋賀	1	3					4	開催地	埼玉	5	3	3	3	3	3	20
東	岐阜	3	3	3			3	12									

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
沖縄	監督 上地 健英 選手 宮井 文彦 〃 山口 光男 〃 照屋 朝保				
鹿児島	監督 別府 照 選手 小野 保男 〃 時住 勉 〃 三善 勝典				
宮崎	監督 日高 壮 選手 松本 行弘 〃 北崎 博国雄 〃 小倉 文				
大分	監督 田中 大也 選手 宮原 秀三 〃 春武 俊一 〃 宮永 武司				監督 吉田 信之 選手 梶原 住江 〃 田島スマコ 〃 荻 フサ子
熊本	監督 益田 隷 選手 松本 孝一 〃 西岡 弘一 〃 野々口 清介		監督 伊藤 基記 選手 南 直治 〃 西田 寿明 〃 工藤 勇参	監督 本郷 節生 選手 本田 顕 〃 加藤 幸一 〃 吉村 慶一	
長崎	監督 木村俊三郎 選手 山口 従一郎 〃 平野 勝也 〃 山口 敏弘				
佐賀	監督 東 多美男 選手 緒方 正行 〃 井上 和秀 〃 中尾 守				
福岡	監督 田中 茂行 選手 佐藤 国晴 〃 秋山 晴一 〃 元重 邦博	監督 渕上 英紀子 選手 玉水 典子 〃 古賀 幸子 〃 筒井 百合子			
高知	監督 山本 邦彦 選手 坂本 真人 〃 島 知章 〃 野村 幸正				
愛媛	監督 浜中 誠 選手 井門 好雄 〃 三近 勝利 〃 友近 靖男				
徳島	監督 山本 圭治 選手 吉田 栄助 〃 鳥巣 隆資 〃 吉坂 嘉起				
香川	監督 野口 利行 選手 牟礼 顕 〃 阿部 正信 〃 東条 義昭	監督 有馬 正作 選手 有木と み子 〃 横井 文子 〃 山本 真江	監督 泉川 嘉輝 選手 森田 佳示 〃 喜岡 恒雄 〃 藤原 和文	監督 地下 義文 選手 小田 忠庸 〃 川津 晃 〃 木田 真二	監督 津山 助一 選手 小片千恵子 〃 竹森 経子 〃 山下 清美

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
山口	監督 山県 保夫 選手 末広 秀樹 〃 河添 忠夫 〃 石川 好夫				
広島	監督 高橋 勇 選手 杉原 彦三 〃 新庄 邦昭 〃 大川 啓喜				
岡山	監督 西崎 正明 〃 小松 貴雄 〃 藤井 英二 〃 八代 順	監督 山上 周之 選手 高塚 淳子 〃 光岡 由枝 〃 大賀 恵子	監督 渡辺 美弘 選手 毛利 清志 〃 三宅 勝敏 〃 柳本 堯	監督 小原 健吾 選手 森本 一郎 〃 武 二 〃 田中 広勝	監督 橋本千代子 選手 亀山 園子 〃 岩田 定子 〃 児玉 祥
島根	監督 森山 民治 選手 星野 忠男 〃 日野 泰三 〃 岩成 昭				
鳥取	監督 加藤 博司 選手 尾崎 英篤 〃 小松 徹夫 〃 横山 匠				
和歌山	監督 西尾 元佑 選手 荒尾 宣一 〃 植田 寿平 〃 堰本 吉				
奈良	監督 神吉 義雄 選手 森 晃一 〃 三木 喬 〃 西野 勇			監督 谷口 章一 選手 滝野 公明 〃 小林 正一 〃 葛輪 博	
兵庫	監督 久山 勝之 選手 橋本 元二 〃 友金 利一 〃 土井 瀬一				
大阪	監督 牧志 夫倫 選手 中川 安正 〃 品川 勝男 〃 加藤 彰		監督 宝来 敏夫 選手 北野 敬四郎 〃 杉田 忠邦 〃 伊勢田 善昭		監督 茂雄 選手 佐藤 和江 〃 篠山 栄子 〃 池田 泰子 〃 平山
京都	監督 川本 夫末 選手 床尾 芥 〃 河合 謙一郎 〃 高木 金次	監督 岡本 宏也 選手 永井 おり 〃 松尾 志津 〃 吉井美代子			
滋賀	監督 寺田 寿 選手 高木 雄 〃 西原 捨四郎 〃 釜屋 和明				
岐阜	監督 沟田 雄 選手 上原 歳章 〃 三輪 之幸 〃 川瀬 宏勝	監督 五井 完宗 選手 高木 紀子 〃 天野 博江 〃 虫賀 雅子			監督 野村 博 選手 藤井 幸子 〃 高橋 孝子 〃 安藤久美子

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
三重	監督 千田 軍二 選手 吉川 正孝 〃 伊村 隆 〃 増井 孝夫		監督 浜崎三之助 選手 大世古吉弘 〃 南 吉雄 〃 戸上 臣吾		
愛知	監督 伊藤 鉱一 選手 板垣 善憲 〃 安沢 武司 〃 小林 一宏				
静岡	監督 影山 隆亮 選手 岩崎久治郎 〃 日下部敏弘 〃 平野 孝雄			監督 中島 鎮也 選手 笠井 好美 〃 笠井 教行 〃 浅井 良伸	
福井	監督 大滝 和 選手 原 紀征 〃 寺崎 由雄 〃 梶谷 将人				
石川	監督 増林 博 選手 新田 正治 〃 沢田 力 〃 東 茂樹				
富山	監督 中山 邦夫 選手 川上 洋一雄 〃 永原 昌治 〃 関村 順		監督 多小五郎内 選手 清水 芳隆 〃 正木 史郎 〃 松山 信之	監督 不破 裕 選手 米田 実 〃 松島 保 〃 谷口 寛	
長野	監督 小出沢 悟 選手 伊藤 尚臣 〃 原田 豊 〃 伊藤 隆				
新潟	監督 市嶋智三郎 選手 永井 司 〃 大竹 紘一 〃 星野 義昭	監督 佐藤 秀夫 選手 五十嵐明美 〃 後藤 和子 〃 加藤 操			監督 阿部 一佳 選手 相沢マチ子 〃 金子美和子 〃 高坂 薫
山梨	監督 新津 勝 選手 遠藤 真男 〃 秋山 真男 〃 田中 登				
神奈川	監督 小川 昌之 選手 小島 一平 〃 山本 洋彦 〃 遠藤 啓治		監督 土方 充 選手 杉田 博 〃 岡田敬三郎 〃 富田 務道		
東京	監督 浅岡 武 選手 堺 栄一 〃 田上 十六 〃 本橋 平八	監督 清水 善一 選手 功刀 淑江 〃 叶内 美子 〃 岡部ふさ子		監督 大島 一郎 選手 竹内 秀樹 〃 大和田盛久 〃 浅見 初男	
千葉	監督 高橋 重夫 選手 周東 和之 〃 白井 正隆 〃 太田 盛秋				

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
群馬	監督 西巻 育夫 選手 井上 英夫 〃 中込 実夫 〃 浅野 佳夫				
栃木	監督 富川 一已 選手 森田 利三 〃 遠山 雅勇 〃 田中 勇				監督 遠井 稔男 選手 田仲美津江 〃 枝 加代子 〃 印波 和子
茨城	監督 野中 正稔 選手 早川 博 〃 田端 仁志 〃 福田 喜代				
福島	監督 布引 修二 選手 須藤 博 〃 平田 勲 〃 富樫 亮一				
山形	監督 金森 義弘 選手 板垣 隆房 〃 武田 浩一 〃 沼沢 利一				監督 志鎌 正 選手 高橋 てる 〃 船越 節子 〃 尾上由美子
秋田	監督 松橋 裕 選手 川辺 正勝 〃 三国屋 茂 〃 稲葉 順二郎	監督 脇坂 安隆 選手 横山 満子 〃 高橋 奉子 〃 加賀谷ミ子			
宮城	監督 竹内 光雄 選手 高橋 祥充 〃 佐藤 勝男 〃 寒河江一利		監督 熱海 文雄 選手 加茂 和夫 〃 渡部 紘一 〃 菊地 功	監督 高橋 貞雄 選手 門間 幹夫 〃 山田 哲夫 〃 木戸 純一	
岩手	監督 金原 良史 選手 及川 好 〃 及川 靖 〃 吉田 寛				
青森	監督 鈴木 忠雄 選手 三浦 勇悦 〃 福井 正志 〃 高井 幾男				
北海道	監督 渋井 明 選手 岩崎 昭郎 〃 伊藤 善夫 〃 福島 智徳	監督 三宅 仁 選手 村田 泰子 〃 福田由美子 〃 佐藤 三和	監督 五十嵐宣善 選手 杉田 茂良 〃 安達 惟彦 〃 上山 功夫	監督 神山 豊州 選手 木村 敏男 〃 神田 勇一 〃 中里 昭	監督 奥山 晧之 選手 谷浦久美子 〃 高田すみえ 〃 丹野美知子
埼玉	監督 富山 武司 選手 神 至 〃 鈴木 幸春 〃 森谷喜久男	監督 富橋 末治 選手 佐々木フミ 〃 中川美枝子 〃 工藤よう子	監督 高橋喜久司 選手 久保田宇作 〃 保坂 和也 〃 大平 躬	監督 唐沢 清一 選手 今井 茂満美 〃 田中 正美 〃 増田 隆一	監督 五十里光秋 選手 山本由紀子 〃 菅原真知子 〃 長部嘉代子

競　技　記　録

種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( ) {		} ( )	
	選　手　名					選　手　名
複			( ) {		} ( )	
1　単			( ) {		} ( )	
2　単			( ) {		} ( )	

種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( ) {		} ( )	
	選　手　名					選　手　名
複			( ) {		} ( )	
1　単			( ) {		} ( )	
2　単			( ) {		} ( )	

種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( ) {		} ( )	
	選　手　名					選　手　名
複			( ) {		} ( )	
1　単			( ) {		} ( )	
2　単			( ) {		} ( )	

競　技　記　録

種別及試合番号			試合時間	自　時　分 至　時　分	審判氏名	
	県　名					県　名
			( ) {		} ( )	
	選　手　名					選　手　名
複			( ) {		} ( )	
1　単			( ) {		} ( )	
2　単			( ) {		} ( )	
種別及試合番号			試合時間	自　時　分 至　時　分	審判氏名	
	県　名					県　名
			( ) {		} ( )	
	選　手　名					選　手　名
複			( ) {		} ( )	
1　単			( ) {		} ( )	
2　単			( ) {		} ( )	
種別及試合番号			試合時間	自　時　分 至　時　分	審判氏名	
	県　名					県　名
			( ) {		} ( )	
	選　手　名					選　手　名
複			( ) {		} ( )	
1　単			( ) {		} ( )	
2　単			( ) {		} ( )	

天皇杯・皇后杯得点表

種別 / 都道府県名	天皇杯							皇后杯			
	一般男子	一般女子	高校男子	高校女子	教員男子	合計	順位	一般女子	高校女子	合計	順位
沖縄											
鹿児島											
宮崎											
大分											
熊本											
長崎											
佐賀											
福岡											
高知											
愛媛											
徳島											
香川											
山口											
広島											
岡山											
島根											
鳥取											
和歌山											
奈良											
兵庫											
大阪											
京都											
滋賀											
岐阜											
三重											
愛知											
静岡											
福井											
石川											

種別 / 都道府県名	天皇杯							皇后杯			
	一般男子	一般女子	高校男子	高校女子	教員男子	合計	順位	一般女子	高校女子	合計	順位
富山											
長野											
新潟											
山梨											
神奈川											
東京											
千葉											
群馬											
栃木											
茨城											
福島											
山形											
秋田											
宮城											
岩手											
青森											
北海道											
埼玉											

MEMO

栄　光　の　跡

第4回　昭和24年 東京YWCA（個人戦オープン）

	(一位)	(二位)	(三位)
一般男子　単			
東京	広田敏秀	北海道 佐藤保	東京 藤井光男
一般男子　複			
東京	広田敏秀	神奈川 岡淳一	北海道 佐藤保
	藤井光男	相馬万吉	村上三郎
一般女子　単			
神奈川	吉田とよ子	愛知 吉沢千里	神奈川 遠藤文子
一般女子　複			
神奈川	吉田とよ子	小林歌子	愛知 吉沢千里
	遠藤文子	中村たき	後藤範子

第5回　昭和25年 愛知県 栄小学校、東桜小学校、白鷗小学校

	(一位)	(二位)	(三位)
一般男子			
東京	広田敏秀	神奈川 岡淳一	北海道 佐藤保
	藤井光男	相馬万吉	村上三郎
	小宮淳宏	大谷直次	葛西英俊
	山田康久	松本武道	若林守
一般女子			
神奈川	吉田とよ子	愛知 鈴木綾子	北海道 藤絹代
	遠藤文子	谷江子	伊藤信子
	小林歌子	堀田綾子	安藤賀栄子
	荒川とよ子	保田久子	佐岡京子
		伊与田照子	片原明子
高校男子			
北海道	石田裕二	愛知 川辺光成	神奈川 岡村道弘
	神山周夫	石渡健男	松井昂
	大塚健一	大野竹口勇	島中貞実

総合優勝　神奈川県

第6回　昭和26年 広島県 広大東雲分校、同附属小学校

	(一位)	(二位)	(三位)
一般男子			
東京	広田敏秀	岐阜 玉越忠治	愛知 藤井光男
	岡道明	大竹健司	渡辺成男
	山田康欠	大野和彦	蟹
一般女子			
愛知	堀江綾子	石川 登悦子	北海道 伊藤絹代
	保田久子	貝原さえ子	片岡京子
	伊与田照子	高田八重子	栗原澄子
高校男子			
愛知	服部安治	石川 東正直	岐阜 後藤裕八郎
	野口勇一	西貞夫	林金太郎
	之松健	諸江秀	田正則

総合優勝　愛知県

第7回　昭和27年 宮城県 東北大学体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子						
神奈川	広田	秀明	石田	裕二	井江	実敏
	岡井	敏道	神山	俊郎	宮崎	茂朗
	藤原	昂秀	葛西	周三	小藤	章芳
	吉坂	一雄	野坂	英豊	山	
一般女子						
石川	貝塚	えさ子	中谷	江子	堀江	綾子
	登田	子	瀬	子	保田	久子
	高倉	悦重	寺	子	伊野	照子
	米衣	八絵	之	子	水	美子
高校男子						
東京	望月	雄	倉	男	諸	一
	倉田	彦	根	司	井	夫
	力石	潔	藤	明	山	三
	鈴木	治	島	則	上	稔
		文	新	和	江	秀
		一	関	英	上	晴
		隆	内	弾	本	圭
			伏	光	田	
高校女子						
兵庫	広瀬	延	佐藤	照	大川	良
	西尾	子	十嵐	子	竜野	代
	笠原	貞	藤	弘	藤田	美子
	小津	美子	斉藤	久美子	中島	光緑
	関	一	佐	昭		
総合優勝	神奈川県					

第8回　昭和28年 香川県 善通寺体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子						
神奈川	広田	秀	藤井	男	大竹	司
	佐治	敏	諸江	光	松岡	三
	川崎	順	相川	秀	丹羽	昭
	杉田	豊	萩原	十一郎	林	郎
		久博		誠		
一般女子						
神奈川	遠藤	子	岡元	子	貝原	えさ子
	小林	文	柏津	弘	登谷	悦子
	荒川	歌	阿部	貴江	島駒	須磨子
	小野	みと智	荒井	悦子	町	ヤス子
高校男子						
北海道	片石	敏	江尻	桂	越川	啓
	加藤	則	辻	三	花岡	夫
	長川	男	半外	直而	折井	彦
	谷田	充	岡崎	幸健	内藤	明弘
高校女子						
宮城	西堀	美子	大西	誉子	大川	良子
	谷津	京子	秋山	武子	藤田	光子
	佐藤	範子	真鍋	久子	竜野	代子
	松本	幸子			波多	澄子
総合優勝	神奈川県					

第9回　昭和29年 北海道 札幌市

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子						
岐阜	玉越	治	野口	勇	水谷	正
	大竹	忠司	服部	治	清木	一
	松岡	健三	稲熊	夫	釣荒	男
		竜		貞		友玄久
一般女子						
宮城	西堀	美子	登田	悦子	保田	子
	佐藤	富子	原	えさ子	伊与	久子
	谷津	範子	谷	信	堀江	照子
		京	渋			綾子
高校男子						
愛知	豊御	健	西江	嘉	富沢	健
	伊場	正	島	桂	伊豆	一
		信		三	内	宏
	反藤	広	村尻	昇	辺	潔
高校女子						
福島	武田	信	大森	美子	大沢	子
	伊藤	桂子	友野	嘉文	大室	美子
	尾形	享子	三宅	基	大竹	子
総合優勝	愛知県					

第10回　昭和30年 神奈川県体育館、鶴見高女体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	広田敏秀		大竹健司		釣谷一男	
神奈川	杉田博	岐阜	松岡竜三	富山	友久満	
	岡道明		酒井弘		亥高木	
一般女子						
	武田信子		荒川とみ子		梅津貴子	
福島		神奈川	小林歌子	北海道	阿部悦子	
	伊蔵桂子		大川良子		下山重子	
高校男子						
	永井栄一		北方匡		生田仁紀	
東京	北島勝英	石川	関功房	山形	板垣隆房	
	小野岡順一		米谷外喜彦		羽角至	
高校女子						
	友野文子		佐々木功子		永田豊子	
岡山	権田節子	宮城	三浦井節	香川	藤村紙代子	
	三宅基子		管		藤	

総合優勝　神奈川県

第11回　昭和31年 兵庫県 神戸ＹＷＣＡ、生田中学

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	杉田博		上田弘		毛利志	
神奈川	佐藤朗	大阪	増益男	岡山	前田清	
	佐藤昌久		武村俊平		石原俊一	
一般女子						
	西堀貴美子		友野文子		西尾貞子	
宮城	小野寺静江	岡山	権田節子	兵庫	加藤洋子	
	佐藤範子		光本政子		金森奎子	
高校男子						
	小宮好雄		柳邦夫		板垣隆房	
神奈川	中村智	北海道	ツ桐正徳	山形	山鑓勝	
	斉藤裕之		岩本竜一		水重志	
高校女子						
	横井キヌ子		小林桂子		三浦倉	
香川	井上桂子	岡山	戸田寿子	宮城	沼浦英	
	山下衣子		根岸絢		三与志	

総合優勝　岡山県

第12回　昭和32年 静岡県 富士宮体育館、富士高講堂

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	佐藤朗		月文雄		中良夫	
神奈川	杉田博	東京	石潔	北海道	野嘉隆	
	新倉和男		木俊三		山修爾	
一般女子						
	横井キヌエ		権田節子		大川良子	
香川	井上桂子	岡山	光本政子	神奈川	小林歌子	
	山下衣子		小林桂子		石川英子	
高校男子						
	小宮好雄		酒井田夫		野脇田隆	
神奈川	中村智	石川	村和男	島根	森英	
	鈴木敏勝		堀知章		富	
高校女子						
	田島外茂子		掛橋良子		有田順子	
香川	山下久子	静岡	西村弘子	石川	長田悠子	
	宮川ツヤ子		佐野禎子		松田富子	

総合優勝　神奈川県

第13回　昭和33年 富山県 高岡女高体育館、南星中体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	片越	石川 兼牧 敏啓夫	神奈川	杉佐佐 田藤藤 博朗久	大阪	高上松 谷田玉 弘弘志
東京				芳昌 子子子		芳益清
一般女子	横山田	井下島 キヌエ子	神奈川	小大二 林川見 歌良文	岡山	権光小 田本林 節政桂
香川		久外茂		幸武 春司壘		晃高安
高校男子	金板小	森垣林 義善 弘憲賢	東京	鈴宮貝 木永戸 洋玲桂	奈良	森根中 川崎多 紀節光
山形						
高校女子	藤有福	本木本 文と和 子子子	富山	高中拇 尾島尾 子子子	石川	山川竹 一諭正 子子子
香川			野			久
総合優勝	東京都					

第14回　昭和34年 東京都 足立区体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	佐佐関	藤藤口 朗芳潔	石川	新酒村 田井田 治正治 夫和男	大阪	松小小 王松松 志博貢
神奈川						清康
一般女子	大二権	川見野 子子子	香川	横山宮 井下川 キヌエ子	富山	大高中 坪島島 子子子
神奈川		良文や		ヤツ		あい洋玲
高校男子	渡堀甲	辺江斐 紘保昭 一雄宏	北海道	竜竹梅 瀬中木 彦光聡	神奈川	山岡小 本崎坂 彦三充
宮城				康将		洋恵拓
高校女子	藤有福	本木本 文と和 子子子	静岡	伊志石 沢村原 子子子	富山	拇橋酒 尾井田 桂智智 子子子
香川				利セ待		野美美
教員男子	杉山石	田本原 博副治 義	大阪	佐宝北 藤来野 雄夫郎 茂敏敬 四	東京	平市柳 田川田 郎司規 志登和 直
神奈川						
総合優勝	神奈川県					

第15回　昭和35年 熊本県 菊池市体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	永北貝	井島戸 栄克 一英肇	神奈川	佐遠砥 藤藤石 朗治勤 芳啓	富山	荒扇大 木沢野 男徳雄
東京						玄三幸 久
一般女子	高中拇	尾島尾 洋玲桂 子子子	秋田	脇木横 坂村山 エ子子 チ政満	静岡	伊志 村沢村 江子子 津利セ ツ
富山						
高校男子	岡小五	嶋坂谷 恵拓敏 三充彦	山形	佐出高 藤沢橋 井 彦男一 勝勇清	新潟	阿笠伊 部原藤 孚淳祐 洋
神奈川						
高校女子	橋酒平	井田 美知知 子子子 美敦	香川	横林森 文信久 子子子	秋田	高石長 橋沢崎 子子子 泰七文
富山						
教員男子	北河茂	方山藤 匡夫寛 晴	神奈川	杉山石 田本原 博副治 義	秋田	条脇鈴 越坂木 三隆司 竜安裕
石川						
総合優勝	富山県					

第16回　昭和36年　秋田県　象潟町中学校体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	東京	片永星 石井野 兼栄忠 敏一男	神奈川	佐岡遠 藤崎藤 芳恵啓 朗三治	山形	板出北 垣沢村 房男任 隆勇
一般女子	富山	掛橋酒 野尾井 桂美美 子知知	秋田	木横高 村山橋 政滿奉 子子子	香川	宮福横 川井井 ヤ知文 子子子
高校男子	新潟	大安星 竹沢野 紘武義 一司昭	北海道	中松村 村浦本 富直 光蔦治	山梨	平秋早 田山川 真
高校女子	山形	佐小矢 藤笠口 弘詔淳 子子子	静岡	高天影 木野山 紀博昭 子江子	秋田	伊横大 藤山門 津美綾 子子子
教員男子	石川	北河江 方原尻 匡晴圭 夫三	神奈川	杉岡秋 田田山 博三敬 郎彦捷	秋田	脇鈴高 坂木橋 安裕弘 隆司喜

総合優勝　秋田県

第17回　昭和37年　岡山　県立倉敷青陵高等学校体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	東京	星富井 野田門 忠豊鎮雄 男	神奈川	遠鈴岡 藤木崎 啓敏恵 治勝三	愛知	北小長 島宮川 克好陽 英雄一
一般女子	香川	福横森 本井久 知文 子子子	富山	橋酒掛 井尾 智美桂 子子子	秋田	木横高 村山橋 政滿奉 子子子
高校男子	新潟	本荒阿 田川野 務治紀 男善	東京	西須関 野田 一孝 征夫誠	青森	奥長三 谷谷上 国義 昭勇
高校女子	富山	橋室河 崎村 妙光和 子子子	秋田	大大間 塚門瀬 シヨサ 子子子	岡山	高重七 塚政村 淳百泰 子枝子
教員男子	石川	北河江 方原尻 匡晴桂 夫山三	神奈川	杉秋岡 田山山 博捷敬 彦郎	秋田	脇鈴真 坂木崎 安祐俊 隆司光

総合優勝　東京都・富山県

第18回　昭和38年　山口県　下関市体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	愛知	小板稲 宮垣熊 好睿盛 雄寛隆	東京	井宮堺 門永 鎮武栄 雄司一	島根	星富山 野田崎 忠豊春 男茂
一般女子	秋田	横高長 山橋崎 滿奉文 子子子	香川	田横森 島井 外文久 茂子子	富山	掛福室 野尾井 桂美光 子智子
高校男子	新潟	星裏栖 野田口 義光一 夫男春	東京	関中古 村屋 一和正 誠安	北海道	福林久 島田保 智和 徳守男
高校女子	栃木	前松小 沢本出 和晴千代 子子子	新潟	後茂竹 藤沢内 和純泰 子子子	北海道	高高村 森田田 幸裕泰 子子子
教員男子	石川	北河江 方原尻 匡晴桂 夫山三	神奈川	杉岡秋 田田山 博敬捷 郎彦	大阪	大北片 古野岡 吉四輝 弘郎男

総合優勝　新潟県

第１９回　昭和３９年　新潟県立　三条高等学校体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮武司一 堺栄	石川	新田治男 村沢正和 田木野后紀博
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋寿子 長崎文子	岐阜	高木江子 天野博 岩后螢
高校男子	新潟	鈴木正造 神田和夫 片山毅	奈良	森本芳一 橋本壁 真年	富山	立野昭之助 盛野正 高林博弘
高校女子	栃木	植木カ子 大島タコヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高八重子	秋田	佐々木ミ子 中川谷枝 加賀美ユミ子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司夫 佐藤俊	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	田田山博郎 岡秋敦彦 杉捷

総合優勝　新潟県

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮武司六 永上十	香川	東条口昭朗 山礼顕 牟
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博子 高田康子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
高校男子	富山	拇野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀杉山幸矩修 尾関美智則	奈良	真河滝壁村野俊憲公
高校女子	大阪	近藤光枝子 才脇田栄子 池	岐阜	高橋葉子 稲川葉本美代子	栃木	上石吉代子 野崎田明喜代子 サト
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡一 村西	北海道	杉田茂良 笹森弘剛志 中島	岡山	毛三柳利宅本清志 敏 堯

総合優勝　岐阜県

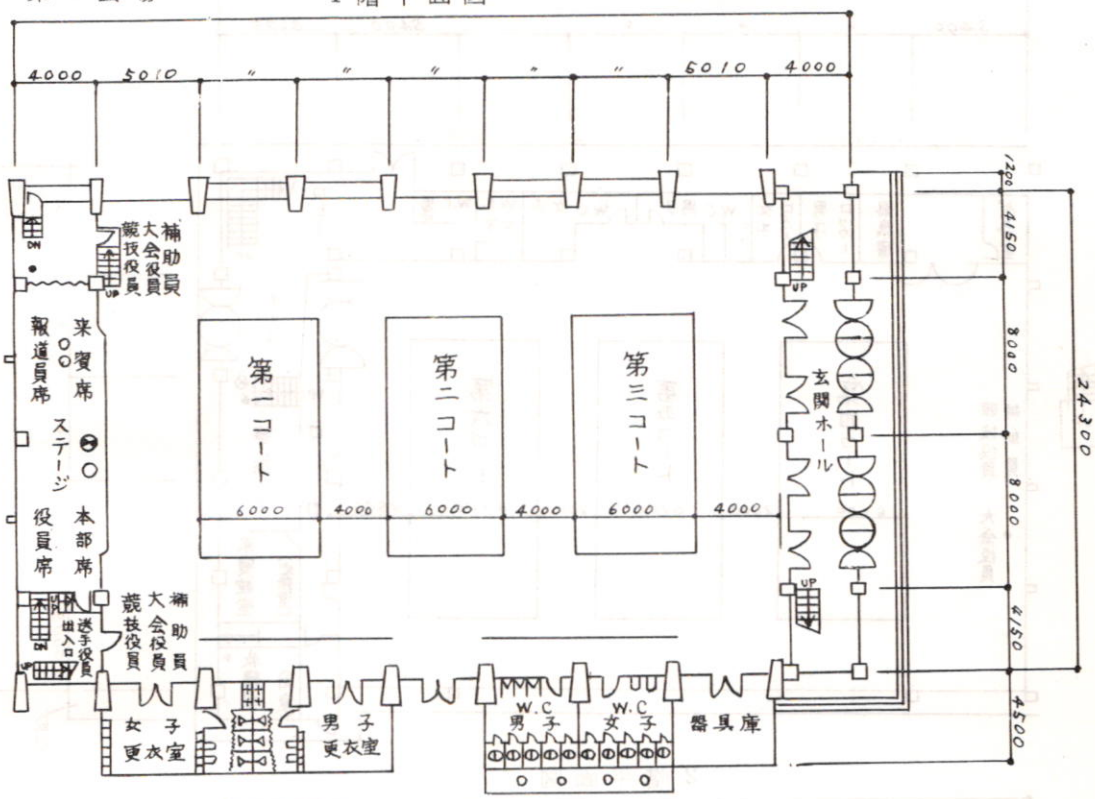
第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館

	(一位)		(二位)		(三位)	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 上三	大分	永中武司一 宮田春俊子 武大
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江子 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉ユミ子 加賀谷
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣作 奥田良	宮城	我妻川一郎清利 市河江一	香川	西辻崎和田忠弘 西小 田
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間下恵美子 日高坂悦子 高	岡	湯浦佐木口藤博恵民 江子子
教員男子	北海道	杉田茂良 安惟珍夫 上山功	石川	河原山晴夫 北方栄 原	岡山	三毛柳宅利本清 勝志郎 堯

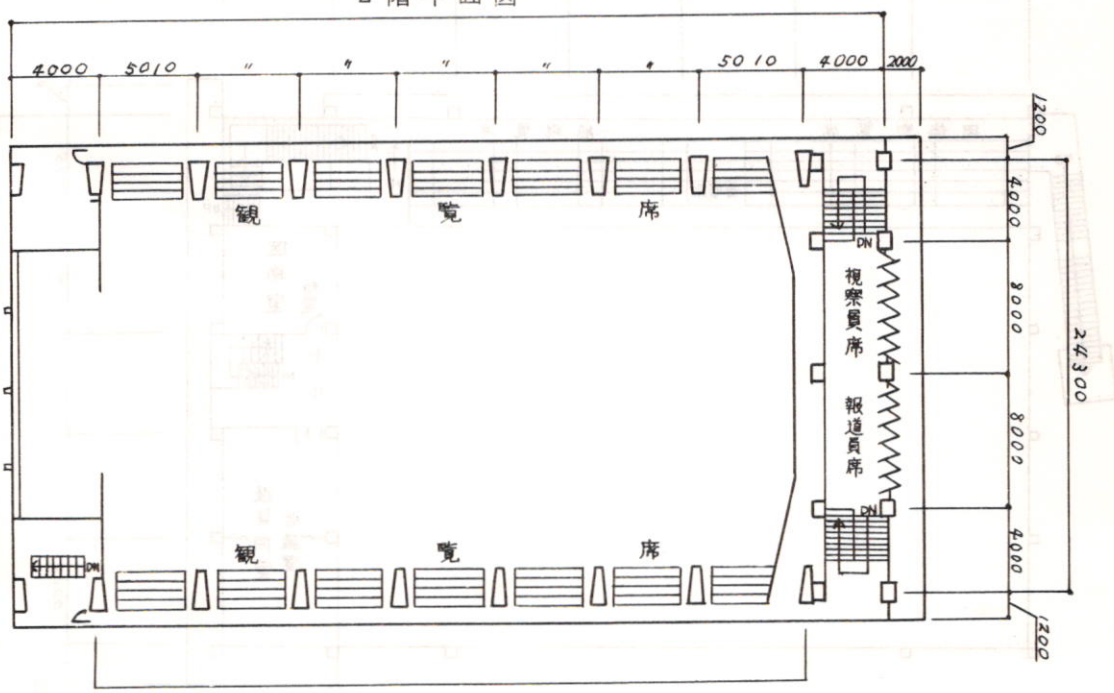
総合優勝　新潟県

第２２回国民体育大会バドミントン大会会場配置図

第１会場　　１階平面図

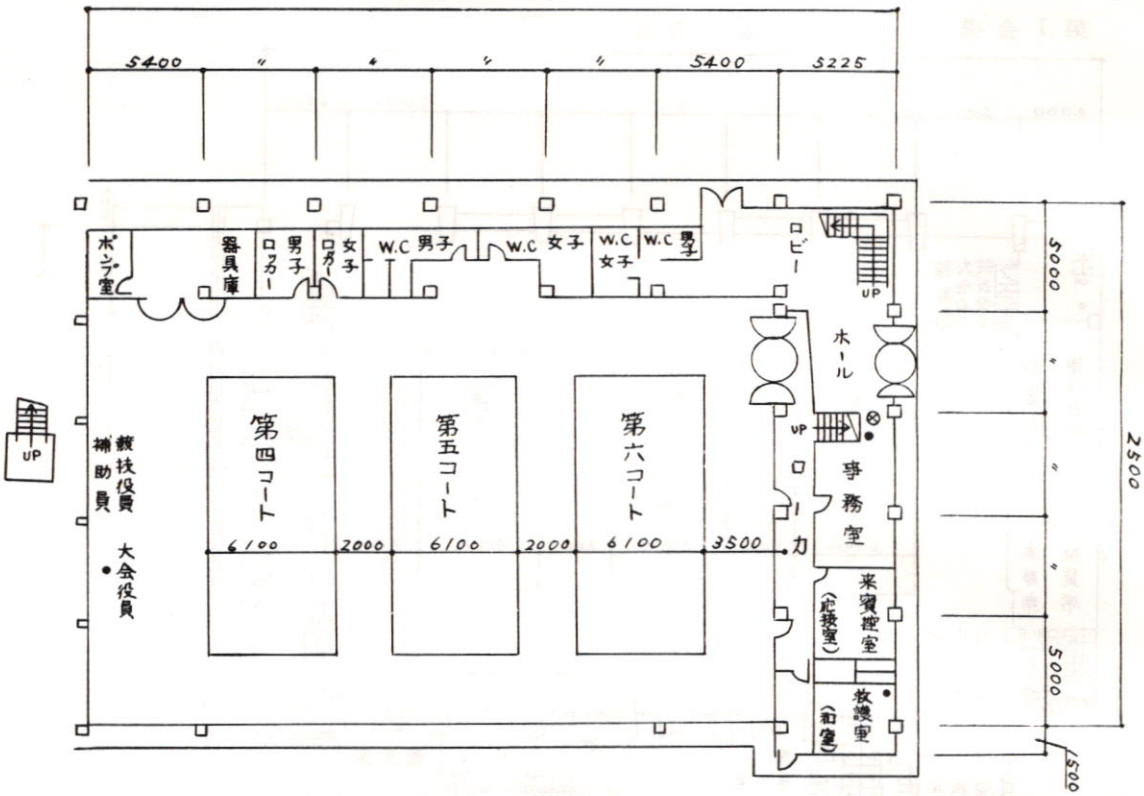


２階平面図

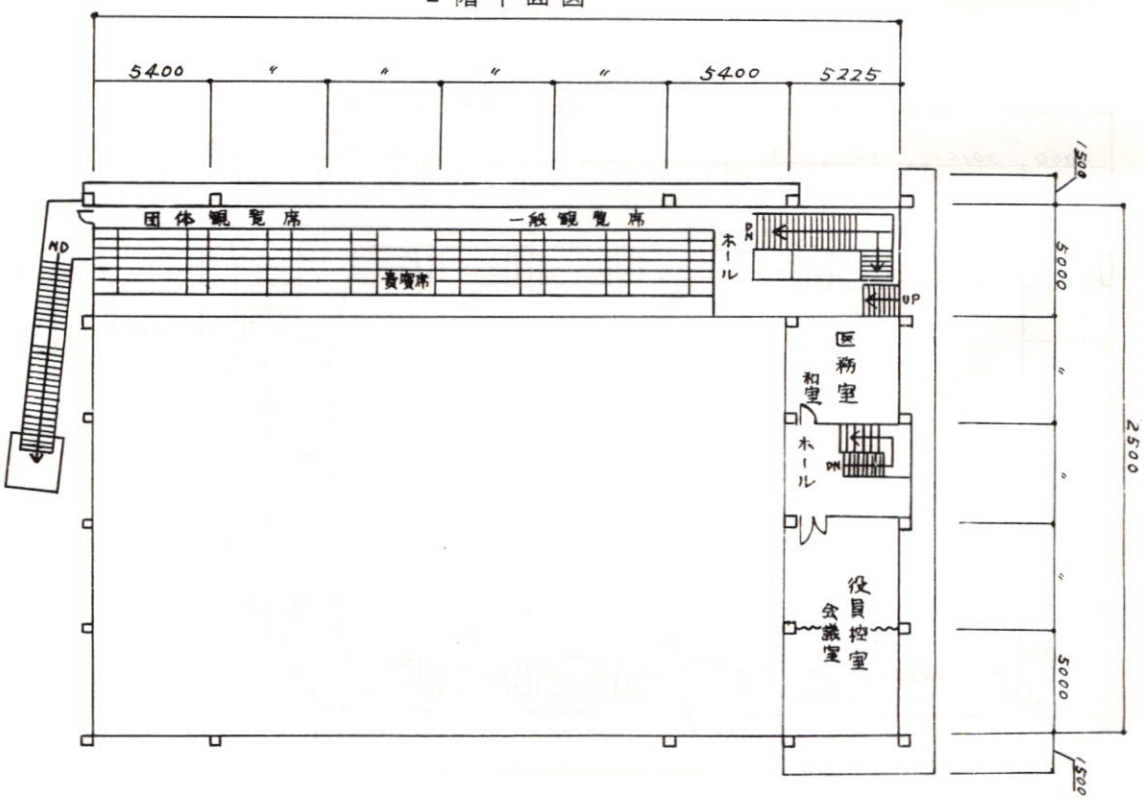


第２会場

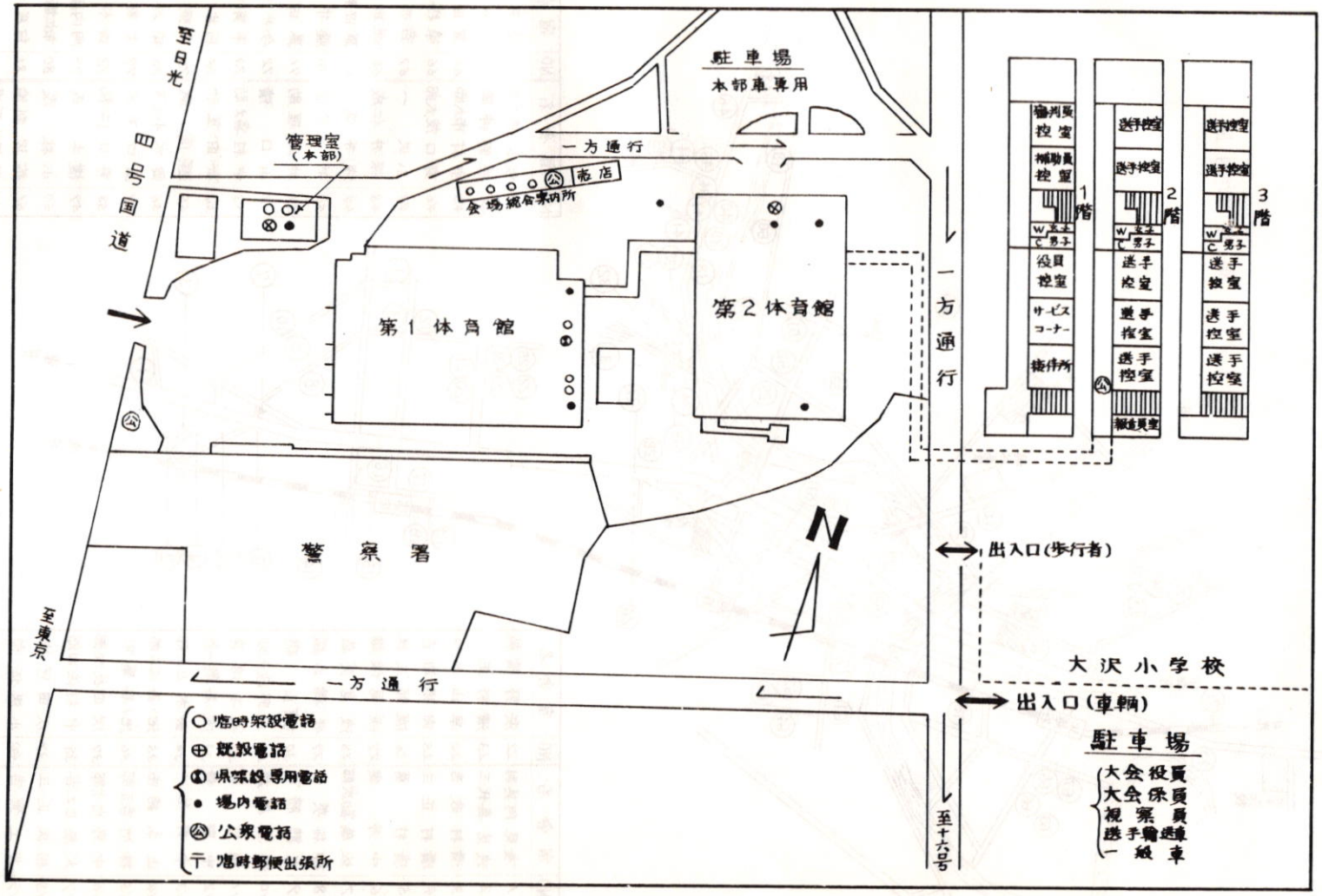
１階平面図



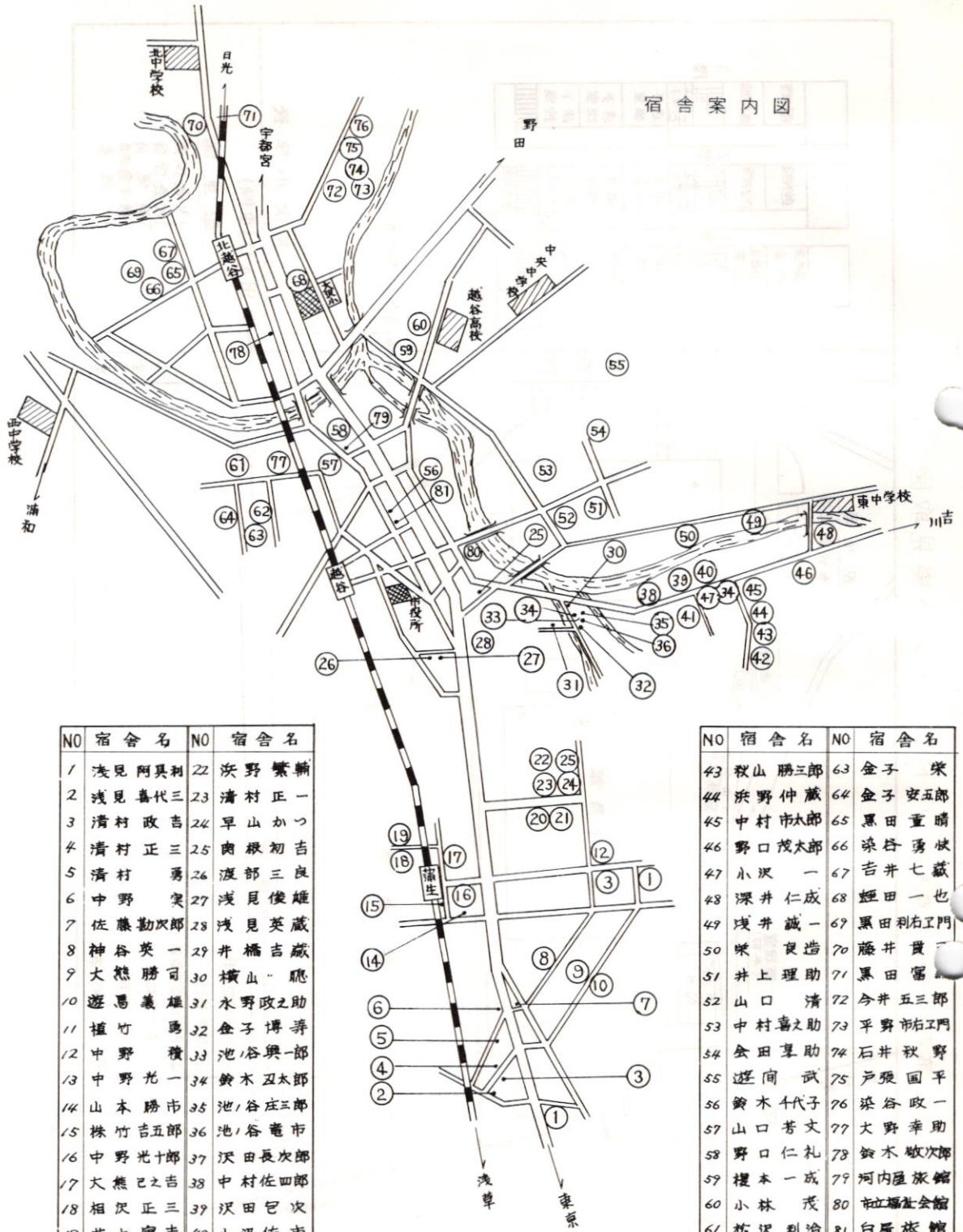
２階平面図



第２２回国民体育大会　バドミントン会場見取図



宿舎案内図



NO	宿舎名	NO	宿舎名
1	浅見 阿其利	22	浜野 繁輔
2	浅見 喜代三	23	清村 正一
3	清村 政吉	24	早山 かつ
4	清村 正三	25	南根 初吉
5	清村 勇	26	渡部 三良
6	中野 実	27	浅見 俊雄
7	佐藤 勘次郎	28	浅見 英蔵
8	神谷 英一	29	井橋 吉蔵
9	大熊 勝司	30	横山 聰
10	遊馬 義雄	31	水野 政之助
11	植竹 積	32	金子 博寿
12	中野 積	33	池ノ谷 與一郎
13	中野 光一	34	鈴木 丑太郎
14	山本 勝市	35	池ノ谷 庄三郎
15	株竹 吉五郎	36	池ノ谷 竜市
16	中野 光十郎	37	沢田 長次郎
17	大熊 こと吉	38	中村 佐四郎
18	相沢 正三	39	沢田 已次
19	井上 寅吉	40	小沢 佐市
20	浜野 重吉	41	石堰 昭二
21	浜野 弥之亜	42	野口 平司

NO	宿舎名	NO	宿舎名
43	秋山 勝三郎	63	金子 栄
44	浜野 仲蔵	64	金子 安五郎
45	中村 市太郎	65	黒田 重晴
46	野口 茂太郎	66	染谷 勇快
47	小沢 一	67	吉井 七蔵
48	深井 仁成	68	鯉田 一也
49	浅井 誠一	69	黒田 利右エ門
50	栄 良造	70	藤井 貫
51	井上 理助	71	黒田 富
52	山口 清	72	今井 五三郎
53	中村 喜之助	73	平野 市右エ門
54	金田 享助	74	石井 秋野
55	遊間 武	75	戸張 国平
56	鈴木 千代子	76	染谷 政一
57	山口 芳文	77	大野 幸助
58	野口 仁礼	78	鈴木 敬次郎
59	櫻本 一成	79	河内屋旅館
60	小林 茂	80	市立福祉会館
61	松沢 利治	81	白屋旅館
62	利根川 反造		

宿　舎　決　定　書

県名	種別	人員	到着日		着日食事	宿舎名	住所	TEL		寝具	領収書	連絡員
			日	時	朝昼夕			局	番			
沖縄	一男	4				小林　茂	越ケ谷1,700	62	3346	4		
鹿児島	一男	5				水野政之助	西方3,239	62	4585		3917	
宮崎	一男	4				浅見　英蔵	瓦曾根　162	62	5263		3913	
大分	一男	4				金子安五郎	宮本町2-277					
〃	高女	4				金子　栄	〃　2-182	62	3556			
熊本	一男 教男	8				蛭田　一也	大沢3-16-15	62	3926	8		
長崎	一男	4				松沢　利治	宮本町2—63	62	3560	4		
佐賀	一男	4				沢田長次郎	西方　242	有	299-11			
福岡	一男	4				藤井　貫司	北越谷5-3-18	62	7359	4		
〃	一女	4				黒田　富蔵	〃　5-5-7	〃	2837	4		
高知	一男	4				利根川友造	宮本町2—123	〃	3980			
愛媛	一男	5				野口　仁礼	本町8—24	〃	2407			
徳島	一男	4				山口　芳文	中町　5—1	〃	2772	4		
香川	一男	4				遊間　武	東小林　93	〃	7409	4		
	一女	4				井上　理助	〃　2,077	〃	7709	4		
	教男	4				会田　亨助	〃　258	〃	8017	4		
	高男	4				中村喜之助	〃　1,512	〃	2817	4		
	高女	4				山口　清	〃　1,463	〃	3877			
山口	一男	5				沢田　包次	西方　149	〃	4617			
広島	一男	4				大野　幸助	宮本町1—63	〃	1317			
岡山	一男	4				金子　博寿	西方2,384			4	3918	
	一女	4				鈴木刃太郎	〃　2,359					
	教男	4				池ノ谷興一郎	〃　2,362	62	4582			
	高男	4				池ノ谷庄三郎	〃　2,325					
	高女	4				池ノ谷　竜市	〃　2,348	62	0955	4		
島根	一男	4				中野　積	蒲生2,292	〃	4969	4	3897	
鳥取	一男	4				深井　仁成	西方　448	〃	6209			
和歌山	一男	4				中野　実	蒲生　550	〃	4802		3891	
奈良	一男 高男	8				鈴木敬次郎	大沢2-1-29	〃	3642			
兵庫	一男	5				井上　寅吉	蒲生3,273	〃	5236		3904	
大阪	一男	5				横山　聡	西方2,289	〃	6137		3916	

県名	種別	人員	到着日 日	到着日 時	着日食事 朝昼夕	宿舎名	住所	TEL 局	TEL 番	寝具	領収書	連絡員
大阪	教男	4				鈴木 康昭	西方3,515	62	7759	4	3915	
〃	高女	5				井橋 吉蔵	瓦曾根 3	〃	6254	5	3914	
京都	一男	4				浜野弥之丞	登戸 517	〃	4287	4	3906	
〃	一女	4				浜野 重吉	〃 525	〃	5857		3905	
滋賀	一男	4				浜野 繁輔	〃 562	〃	5876	4	3907	
岐阜	一男	4				清村 正一	〃 444	〃	9627		3908	
〃	一女	4				早山 かつ	〃 447	〃	9616		3909	
〃	高女	4				関根 初吉	〃 459	〃	5709	4	3910	
三重	一男 教男	9				榎本 一成	宮前2,549	〃	3317	9		
愛知	一男	4				相沢 正三	蒲生3,280	〃	5226		3903	
静岡	一男	5				渡部 三良	瓦曾根286-1	〃	2216	5	3911	
〃	高男	5				浅見 俊雄	〃 288	〃	5274	5	3912	
福井	一男	4				中野光十郎	蒲生2,615	〃	4854		3901	
石川	一男	4				中野 光一	〃 2,279	〃	7715	4	3898	
富山	一男 教男	8				栄 良造	東小林3,081	〃	4545	4		
〃	高男	4				浅井 誠一	〃 3,123	〃	3903	4		
長野	一男	4				大熊己之吉	蒲生2,673	〃	5035		3902	
新潟	一男	5				植竹 勇	〃 2,178	〃	3063		3896	
〃	一女	4				神谷 英一	〃 100	〃	3207		3893	
〃	高女	5				佐藤勘次郎	〃 525	〃	4880		3892	
山梨	一男	5				野口茂太郎	西方 413	〃	4576			
神奈川	一男 教男	8				鈴木千代子	越ケ谷3-5-4	〃	2750	8		
東京	一男	5				秋山勝三郎	西方 307	〃	6660			
〃	一女	4				浜野 仲蔵	〃 304	有	299-3			
〃	高男	4				中村市太郎	〃 233	62	4747			
千葉	一男	4				小沢 佐市	〃 243	有	297-1			
群馬	一男	4				小沢 一	〃 243	62	3991	4		
栃木	一男	4				野口 平司	〃 301	〃	4605			
〃	高女	5				石塚 昭二	〃 248	〃	4607			
茨城	一男	4				中村佐四郎	〃 107	有	297-7			

県名	種別	人員	到着日 日	到着日 時	着日食事 朝昼夕	宿舎名	住所	TEL 局	TEL 番	寝具	領収書	連絡員
福島	一男	4				清村 勇	蒲生 635	62	5562		3890	
山形	一男	4				清村 正三	〃 626	〃	4021	4	3889	
〃	高女	4				清村 政吉	〃 604	〃	3053		3888	
秋田	一男	4				遊馬 義雄	〃 367	〃	3264		3895	
〃	一女	4				大熊 勝司	〃 358	〃	3031		3894	
宮城	一男 教男	8				株竹吉五郎	〃 2,662	〃	5967	8	3900	
〃	高男	4				山本 勝市	〃 2,638	〃	5939	4	3899	
岩手	一男	4				浅見阿具利	〃 724	〃	3375		3886	
青森	一男	4				浅見喜代三	〃 714	〃	3078		3887	
北海道	一男 教男 高男	21				染谷 勇快	北越谷4−8−5	〃	4661	21		
	一女	4				黒田 重晴	〃 4−5−22	〃	4952			
	高女	5				吉井 七蔵	〃 4−14−3	〃	8740			
埼玉	一男	4				今井五三郎	大沢3−28−37			4		
〃	一女	4				染谷 政一	〃 5−1,530	62	5732	4		
〃	教男	4				平野市右エ門	〃 1,298	〃	0006	3		
〃	高男	4				石井 秋野	〃 5−1,320			4		
〃	高女	4				戸張 国平	〃 5−1,539			4		
	本部役員	30				河内屋旅館	本町 8−2	62	2076 7031			
	競技役員	100				市立福祉会館	越ケ谷4-11-14	〃	8126	100		
合計 47	87	501				81				276		

時刻表

（上り）

浅草・中目黒方面

時	
5	目 目 17 27 32 40 51
6	目 目 目 目 目 1 5 7 13 18 28 30 36 38 41 47 49 51 54 56 59
7	目 目 目 霞 目 目 目 目 2 5 7 9 12 14 17 19 22 25 27 30 33 36 40 42 45 48 53 57 59
8	目 目 目 目 目 3 6 8 14 18 20 23 28 38 41 46 49 53
9	目 目 目 2 7 12 19 22 26 36 43 48 57
10	目 目 目 目 2 5 11 16 20 28 31 38 43 50 55
11	目 目 目 目 6 10 13 21 23 27 43 45 49 59
12	目 目 7 18 22 24 28 33 42 55
13	目 目 目 目 0 7 13 17 19 24 29 34 44 50 53 57
14	目 目 目 4 10 14 23 27 32 39 41 45 50 55
15	目 目 目 目 目 2 5 13 16 20 28 33 36 45 51 57 59
16	目 目 目 目 6 10 19 24 28 32 35 40 43 47 54
17	目 目 目 目 目 0 3 5 8 11 18 21 23 26 32 41 46 50 53 59
18	目 目 目 目 目 7 12 14 17 19 22 27 31 35 44 49 51 58
19	目 目 目 南 目 5 8 13 17 20 23 28 38 41 46 48 52 56
20	目 目 長 目 目 1 6 13 17 25 33 42 45 48 57
21	目 目 1 7 11 13 18 24 28 34 41 45 55
22	南 南 4 11 15 20 29 44 57 59
23	8 17 25 49
24	—

目…中目黒
南…南千住
霞…霞ケ関
無印…浅草
太字は準急

（下り）

日光・鬼怒川・赤城・伊勢方面

時	
5	春 日 北 伊 31 37 49 51
6	幸 春 伊 春 日 幸 北 赤 伊 春 春 4 11 19 26 33 34 44 52 53 58
7	北 春 春 太 北 北 ・日 春 幸 北 館 春 7 10 14 20 25 27 33 37 42 48 54 58
8	北 春 幸 北 春 赤 伊 宇 春 太 春 北 杉 北 8 10 12 15 19 28 33 35 38 47 50 55 58
9	幸 春 北 春 赤 伊 春 宇 幸 春 北 太 春 4 9 11 17 19 29 33 35 39 42 51 58
10	春 杉 春 赤 伊 北 杉 春 宇 北 太 春 北 春 1 6 11 13 23 26 29 34 39 42 51 53 58
11	杉 北 赤 伊 幸 宇 春 春 太 北 1 13 16 30 33 37 43 51 58
12	杉 春 赤 伊 宇 幸 北 太 春 幸 5 12 15 24 28 33 40 53 57
13	春 北 赤 伊 春 宇 幸 北 幸 北 太 8 13 15 24 25 32 38 42 47 54
14	春 北 赤 伊 北 宇 北 幸 春 太 北 1 8 15 19 24 26 30 35 45 54
15	北 幸 春 □ 伊 北 ・宇 幸 北 伊 春 北 2 6 10 14 18 25 30 35 42 50 53
16	北 北 赤 伊 幸 日 鬼 春 幸 北 北 北 伊 春 3 9 12 14 22 24 30 35 42 47 52 57
17	北 鹿 幸 北 葛 伊 春 杉 北 春 ・宇 幸 北 杉 1 4 9 11 14 21 24 30 34 38 44 50 55
18	赤伊 春 北 ・栃 春 北 葛 伊 杉 北 春 幸 ・日宇 春 杉 北 赤伊 0 2 5 9 13 15 17 23 27 31 36 38 45 50 52 54
19	幸 北 ・宇 春 幸 葛 伊 北 ・杉 杉 春 北 杉 春 赤伊 北 ・日 幸 1 5 9 11 14 16 21 24 26 32 34 40 43 45 52 55 58
20	館 春 杉 北 春 幸 葛 伊 春 杉 鹿宇 北 春 春 太 赤 5 8 11 13 17 28 30 34 39 43 45 48 53 58
21	幸 春 栃 北 春 幸 春 赤 伊 春 北 館 栃 春 0 7 13 16 20 25 30 32 37 44 48 52 57
22	幸 太 春 春 幸 春 北 ・館 幸 8 15 18 22 28 37 47 52 54
23	春 春 幸 春 春 杉 北 4 10 18 27 35 48 58
24	北 北 17 34

北…北越谷
杉…杉戸
幸…幸手
館…館林
太…太田
伊…伊勢崎
鹿…新鹿沼
栃…新栃木
宇…宇都宮
日…日光
鬼…鬼怒川
赤…赤城
葛…葛生
太字は準急
・…杉戸まで準急
□…太田まで準急

越谷～川口線

越谷発	川口着	川口発	越谷着
6.00	6.45	6.50	7.35
6.45	7.30	7.35	8.20
8.10	8.55	9.00	9.45
10.00	10.45	10.50	11.35
12.30	13.15	13.20	14.05
14.40	15.25	15.30	16.15
16.30	17.15	17.20	18.05
18.10	18.55	19.00	19.45

越谷～大六天～岩槻線

越谷発	岩槻着	岩槻発	越谷着
6.10	7.00	7.05	7.55
10.00	10.50	10.55	11.45
11.45	12.35	12.40	13.30
14.45	15.35	15.40	16.30
17.15	18.05	18.10	19.00

浦和行

越谷発
7.15
8.00
8.15
8.30
9.25
10.05
11.05
12.05
13.35
14.35
15.35
16.35
17.00
17.30
18.30
19.30
20.30

越谷～岩槻線

越谷発	岩槻着	岩槻発	越谷着
5.55	6.30	6.35	7.10
6.30	7.05	7.10	7.45
7.40	8.15	8.20	8.55
9.00	9.35	9.40	10.15
12.50	13.25	13.30	14.05
15.40	16.15	16.17	16.52
16.45	17.20	17.25	18.00
18.20	18.55	19.00	19.35
19.20	19.55	20.00	20.35
20.20	20.55	20.55	21.30

越谷～大宮線

越谷発	大宮着	大宮発	越谷着
7.23	8.23	8.30	9.30
8.20	9.20	9.50	10.50
10.20	11.20	11.30	12.30
11.50	12.50	13.50	14.50
13.40	14.40	14.50	15.50
15.00	16.00	16.40	17.40
16.15	17.15	17.50	18.50

第22回国民体育大会越谷市実行委員名簿

（順序不同敬称略）

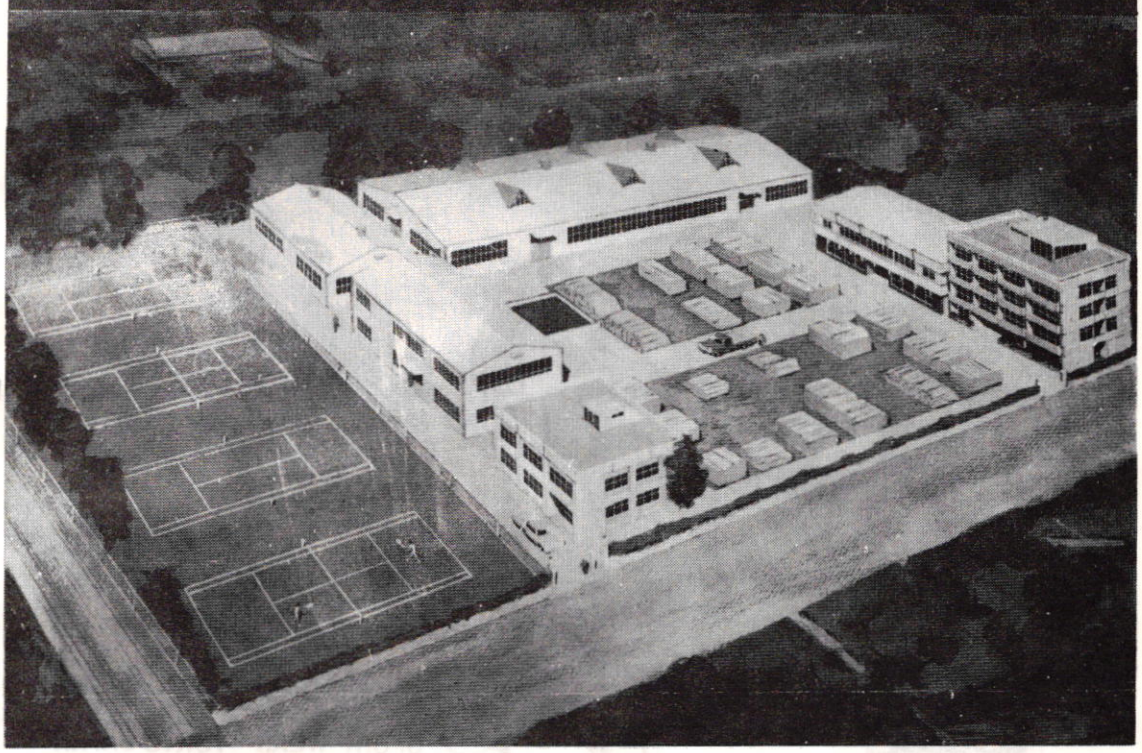
会長	大塚伴鹿			
副会長	山崎寛二	柿沼国治	浅井堅教	
顧問	山崎清	板川正吾	大沢弘	小林春夫
常任委員	中川隆司	浅見英蔵	秋山長作	長谷川春治
	柳井穣治	津村大八	藤間高介	降田清郎
	青木史夫	浅見真哉	金子勝治	石井節二
	飯島正幹	菊地正	小島誠	山崎浩次
	牧野良治	清水銀平	阿部説郎	押田忠信
	畔上喜一	小泉志づ子	山崎正雄	塙末雄
	野口茂太郎	鈴木康昭	黒田嘉太利	中島与兵エ
	高志信雄	山崎清	大貫亥蔵	小川六朗
	矢嶋茂重			

第22回国民体育大会越谷市実行委員会事務局機構

総務部	部長	黒田嘉太利	
	副部長	吉田信一	
	総務部付	川尻春四郎	
		熊井信献	
財務部	部長	高橋仁之助	
	副部長	鈴木正治	
施設部	部長	小川六朗	
	副部長	宗像和男	
	〃	飯山岳司	
宿舎部	部長	中村孝作	
	副部長	須賀健蔵	
	〃	斉藤啓司	
輸送部	部長	島村利一	
	副部長	白鳥巌	
接伴部	部長	中村栄一	
	副部長	田川一郎	
衛生部	部長	中島与兵エ	
	副部長	若林利夫	
	〃	中村一	
保健部	部長	名倉六七	
	副部長	高木教	
広報部	部長	山崎清	
	副部長	須賀和夫	
演技部	部長	外山好太郎	
	副部長	矢嶋茂重	
園芸部	部長	島村平市郎	
	副部長	会田平蔵	
警備部	部長	大貫玄蔵	
	副部長	永野悦郎	
市民運動部	部長	高志信	
	副部長	高橋俊男	

会長	大塚伴鹿二
副会長	山崎寛
	浅井堅教
顧問	浅見英蔵
	秋山長作
事務局長	柿沼国治

祝 埼玉国体



埼玉新工場完成!!

弊社埼玉新工場は、ラケット専門工場として我国最大の規模で、世界でも屈指のものであります。最新設備の研究室では、日夜全精力を傾けて、品質の改良研究を続けており、既に世界各地で大きな信頼を得、輸出貢献産業としても通産大臣より表彰を頂いております。全世界のプレイヤーの皆様の御信頼と御期待に副うべく、カワサキラケットは今後も優秀なテニス・バドミントン用品の開発に努力致します。

K

河崎ラケット工業株式会社

本　社　東京都台東区台東２－28－５
TEL（831）9161㈹～3・6657・1884・0453

貿易課　東京都台東区東上野１－27－15
TEL（832）２０２４・２０２５

東京工場　東京都北区東十条６－11－３
ＴＥＬ（902）７１８１～４

埼玉工場　埼玉県北足立郡北本町二ツ家
ＴＥＬ0485(41)３２８２～３

祝 第22回国民体育大会

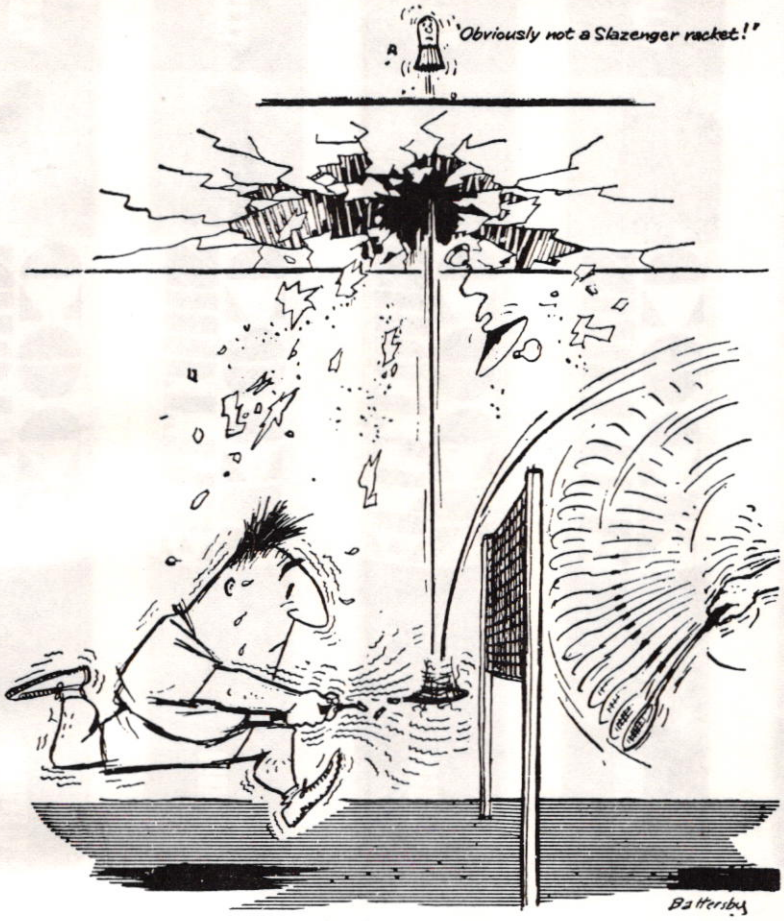
バドミントン



スタイル…着心地のよい
バドミントン・テニスウエア

St.bernard
SPORT WEAR · TOKYO JAPAN

株式会社 セント・バーナード
東京都渋谷区上通4丁目14山本ビル2階　TEL 461—1088



Attack with Slazenger!

What other game is as exacting as badminton! The shuttlecock has unique peculiarities in flight. The small court calls for fast reactions. The high net is restricting. All in all, badminton demands a lot of skill. Make the most of *yours* with Slazenger!

Slazenger

THE NAME TO PLAY WITH

日本総代理店

ジャーデイン・マセソン・アンド・カンパニー（ジャパン）リミテッド

日本総発売元

河崎ラケット工業株式会社



あなたの実力を——
そのままいかす……



サンバタキング

シャトルコックのサンバタキングは、日本で一番古くから検定合格している水鳥球で、七大大会を始め全国各地の大会で使用されている世界のトップをゆく最高級品です。

バドミントン用具の専門メーカー

東京都渋谷区笹塚2丁目46番地

Sun Batta

サンバタ

(株)諸江製作所 電 (377) 4401 (代)

安心して御使用いただける

ヨネヤマのY.S.S印水鳥シャトルコック



〈新発売〉　スポーツウェアー（バドミントン テニス共用）

ラケット（No.5000 Five Ace）

ガット　PRO SHEEP

YONEYAMA

株式会社 **ヨネヤマ ラケット**

東京都文京区湯島３丁目13番５号　電話(832)2431, 4698

BADMINTON TOYODA CO.,LTD

C.M BRAND

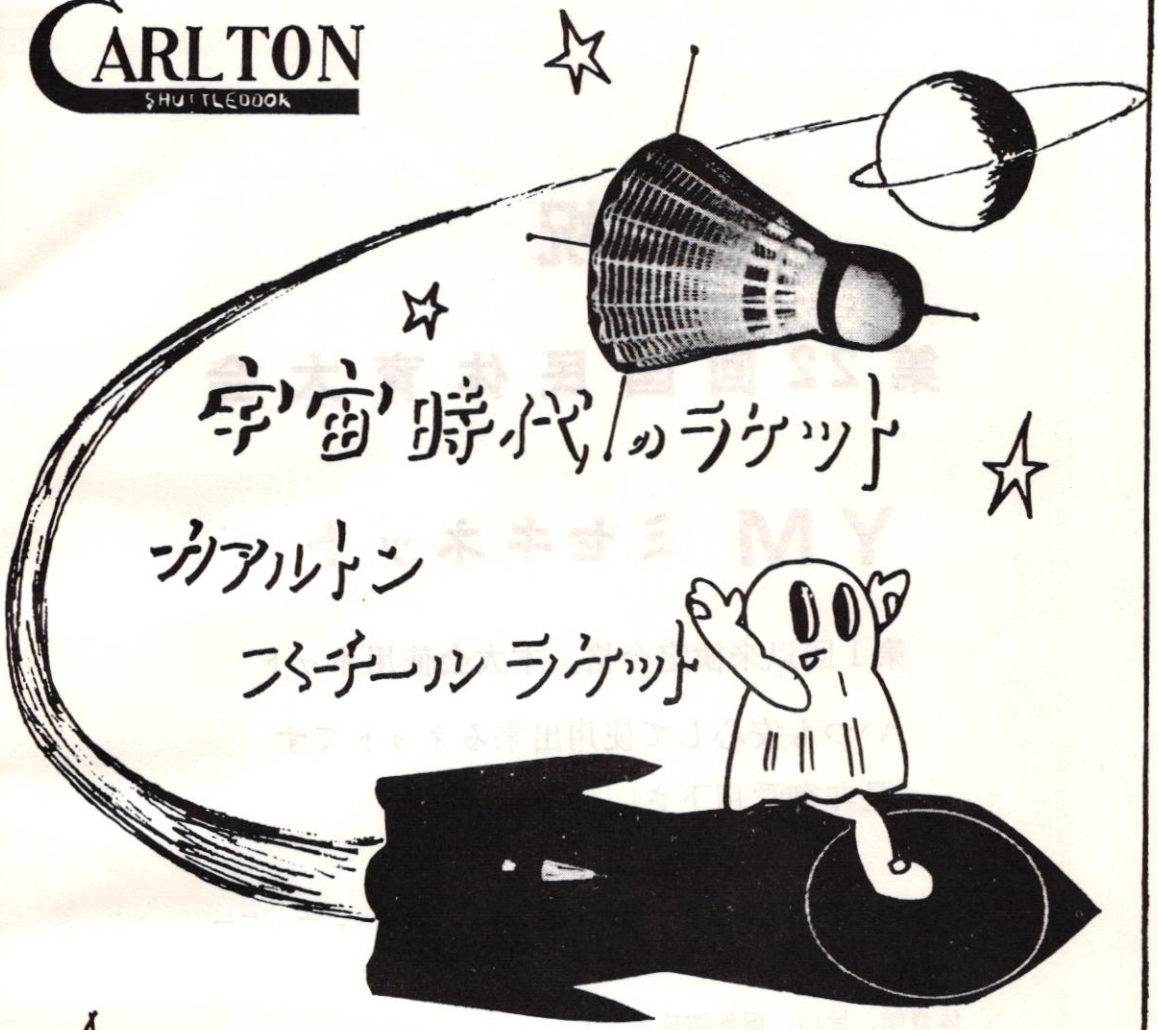


TOYODAの水鳥シャトルが機械化されて5年…安定したC.M BRANDが世界の人気者PIONEERの貫録が世界へはばたく

株式会社 バドミントン トヨダ 東京・三鷹

TEL 0422 (43) 4389・9416

CARLTON
SHUTTLECOCK



軽い、使い易い、丈夫だ、ロケットと同じ材質の金属を使用してあるんだって、3,300円～6,900円まで4種類スゲェナー
（価格は新定価格）

日本カアルトン株式会社では
○短時間で最も効果の上るトレーニング用具“バニーロープ”
○最も経済的な練習が出来るナイロンシャトルコック，

以上2点の他に上記の様なラケットも発売します。
プレーヤーの皆さん、
是非、お試しください。

説明書および問い合わせは下記宛どうぞ
PAT195747　233892　プラスチックシャトルコック
PAT.P. バニーロープ　総発売元
PAT.P. カアルトンスチールラケット

日本カアルトン株式会社

本　社　大阪市南区長堀橋筋1の32
（サンプラスチックスビル内）
TEL (252)　0241～3
東京店　東京都台東区台東3－2－2
TEL (832)　1　6　2　5

祝

第22回国民体育大会

YM ミセキネット

第1回以来検定合格。本大会使用ネット

いつも安心して使用出来るネットです

是非御愛用下さい

バレーボール、テニス、サッカー、ハンドボール、ホッケー

卓球、バトミントン、バスケット、ゴルフネット

体育館、屋内、屋外防球ネット

其の他スポーツ関係ネット全般製造

カタログ御申越次第御送附申上ます

ミセキネット製作所

埼玉県幸手町中1丁目7—4

東武日光線

TEL 04804 -(2)- 0379



全国９万人のバドミントンプレーヤーに贈る
バドミントンシューズの決定版です!!

タイガーバドミントンシューズ

安定性のよい特殊デザイン型底使用。
最も破損の多い爪先部を革で大きく
補強しました。

サイズ／23.0～28.0cm
価格／９００円



Onitsuka Tiger

本社 神戸市須磨区寺田町3丁目1の3 オニツカ株式会社

祝

第22回国民体育大会

越谷ロータリークラブ

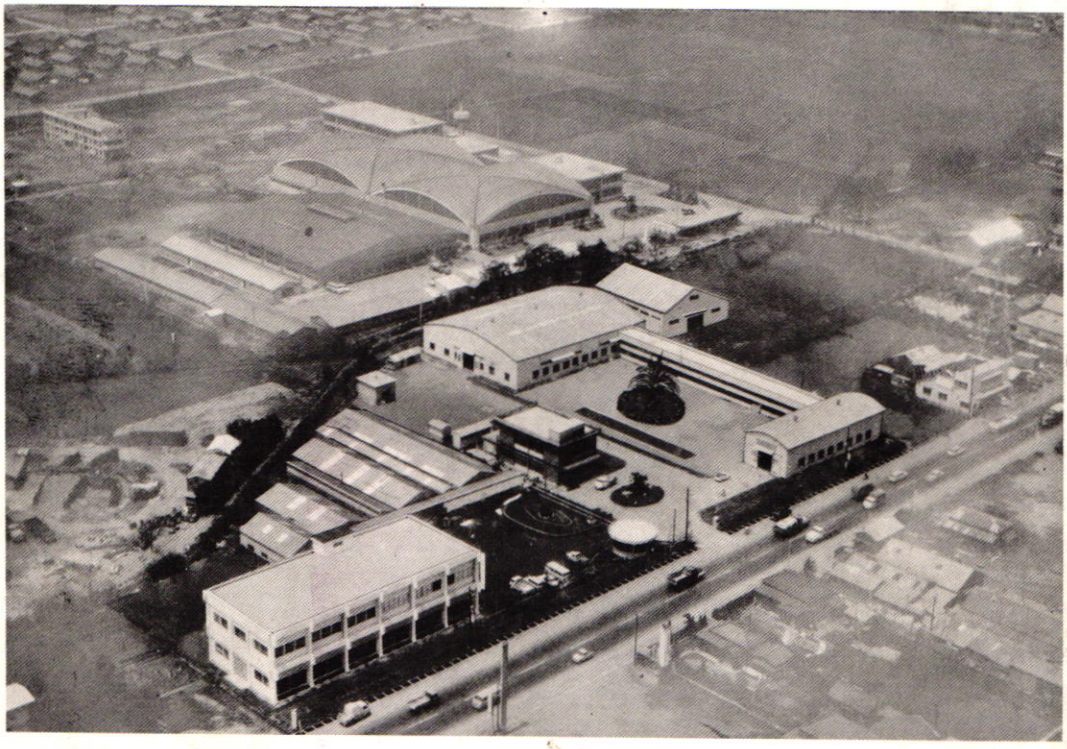
祝

第22回国民体育大会

越谷金融団

埼玉銀行　越谷支店
埼玉県信用金庫　〃
武蔵野銀行　〃
栃木相互銀行　〃

最高の品質 よい鏡 ネオミラー



最高品質の鏡　ネオミラー
シックな木彫鏡　ネオミラー
拡大鏡のついた便利な鏡　ネオミラー
ゴージャスな三面鏡　ネオミラー

楽しく美しいホーム造りの

畔上（あぜがみ）の家具シヨールーム

埼玉県越谷市南越谷２丁目　TEL 0489-62-4121(代)

KA 畔上硝子工業株式會社

本　社　東京 日本橋 馬喰町３—５